

中央区

まちづくり

マンガスクール

2024
作品集



イラスト：さいきゆみ

主催 熊本市(中央区まちづくりセンター)

〒860-8618

熊本市中央区手取本町1番1号(市役所本庁舎2階)

TEL:096-328-2232

©2010 熊本県くまモン#K37174



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

地域活動×将来の夢＝中央区まちづくりマンガスクール



講師プロフィール

株式会社 熊本コアミックス

谷 中 卓 氏

漫画出版社・熊本コアミックス SMAC!編集部に所属する漫画編集者。海外出身の漫画家とともに読切作品や連載作品を作りつつ、公立高校では日本で唯一マンガ学科がある熊本県立高森高等学校にて高校生をプロデビューさせるべく漫画制作の指導を行う。

講師プロフィール

さいき ゆみ 氏

熊本市を中心に活動するイラストレーター、イラスト講師。小学生から大人まで、幅広い年齢層の初心者向け講座や、プロのイラストレーターを目指すスクールの講師など多数。アナログの線画をデジタルでペイントした世界観のあるイラストを得意とする。

講座（全6回）日程・内容

- | | |
|---------------------|---|
| 第1回：7月27日（土）14時～16時 | ・・・マンガの設計図である“ネーム”を作ろう
「まちづくり」を知って、描きたいマンガを考えよう！ |
| 第2回：7月28日（日）14時～16時 | ・・・下書きスタート |
| 第3回：8月 3日（土）14時～16時 | ・・・下書きを進める |
| 第4回：8月10日（土）14時～16時 | ・・・ペン入れなどの仕上げスタート |
| 第5回：8月17日（土）14時～16時 | ・・・仕上げ完成、マンガ提出 |
| 第6回：9月14日（土）14時～16時 | ・・・講 評
プロのマンガ編集者から、完成した作品への感想やアドバイスをもらおう！ |

作品集

ペンネーム

ちはる さん

No.1

題材にした「まちづくり活動」



地域の夏祭り

作者コメント

いろいろなポーズをかいたりペンを使ったりするのは難しかったですが、自分が「描きたい!」と思っていたものを楽しく描けてよかったです。このマンガを見て地域の夏祭りを楽しむだけでなく、がんばって夏祭りを作ってくださる地域の方々のことを考えてくれたらとてもうれしいです。

講評 熊本コアミックス 谷中さん

作品では2人の女の子が出てきますが、このキャラクターの描き分けがしっかりできていると思いました。また、キャラクターの顔の中で一番感情を伝える部分は「目」ですが、この作品では目にすごくこだわっているのが伝わってきて素敵でした。

最初のページではカバンが落ちる描写を意識して、普通の四角ではなく縦長のコマの形に工夫されています。また、2コマ目で主人公が登場して名前もちゃんと分かる構成もよかったです。

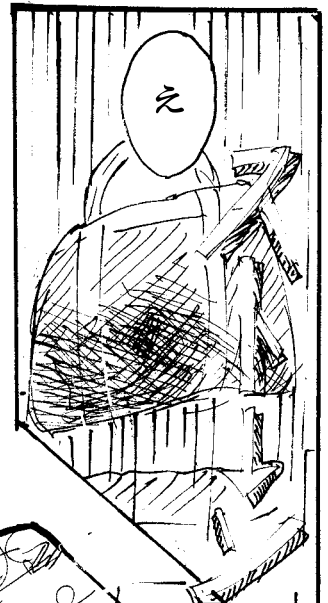
3ページ目冒頭では女の子が訴える様子を目だけにフォーカスして描いています。このコマがあるからこそ、その後大人が行動を起こすきっかけになっています。

また、キャラクターも可愛く描けていて楽しく拝読しました。



まちづくりの注目ポイント

地域の夏祭りは、地域の人を中心に開催されています。地域を盛り上げたい。こども達が楽しめるようにと会議を重ねながら、各地で開催しています。



夏祭りが

もちつき ほたる
望月 蛍 (16)

なくなる…?

ポイ捨てや

あいぞめ みずひ
藍染 瑞陽 (16)

バツ落ちたりと
大丈夫…?

人手不足が原因らしいわ

思い出の

…ちゃん

夏祭りが

無くなる…

大丈夫?

蛍ちゃん!!

私

言ってくる…

え?

町内会の人所に行って

夏祭りを続けられるよう
説得してくる…!!

えっ

ちよつと

ふんふん

蛍ちゃんっ!?

あのっ!!

夏祭りを

続けさせて
くれませんか

私は

この祭りが

この町が大好きです

だから

私たち子供にも

手伝わせてください

一緒に夏祭りを
つくらせてください!!



題材にした「まちづくり活動」

ごみ拾い

作者コメント

イラストをできるだけ細かく描きました。
真っすぐな線を書くのが難しかったです。

講評 熊本コアミックス 谷中さん

まず、女の子と男の子が登場して、読者がこの2人の関係に注目するコマ割りです。すると、ゴミが広がっている様子のコマが出てきます。普通は目の前に山のように広がっている様子を表現しますが、 どれだけあるか分からないほどの量があるという構図が描けていて驚きました。

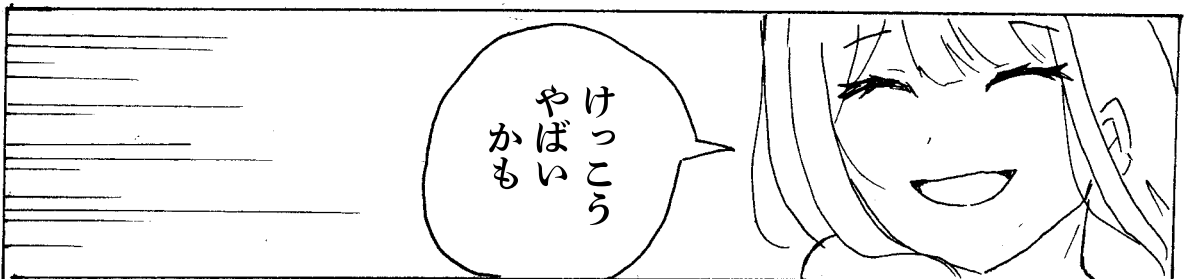
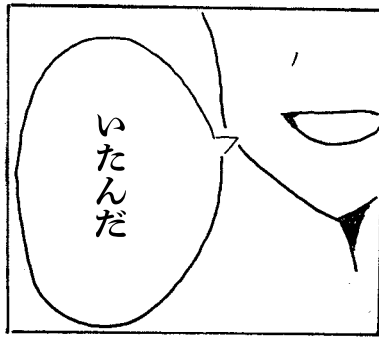
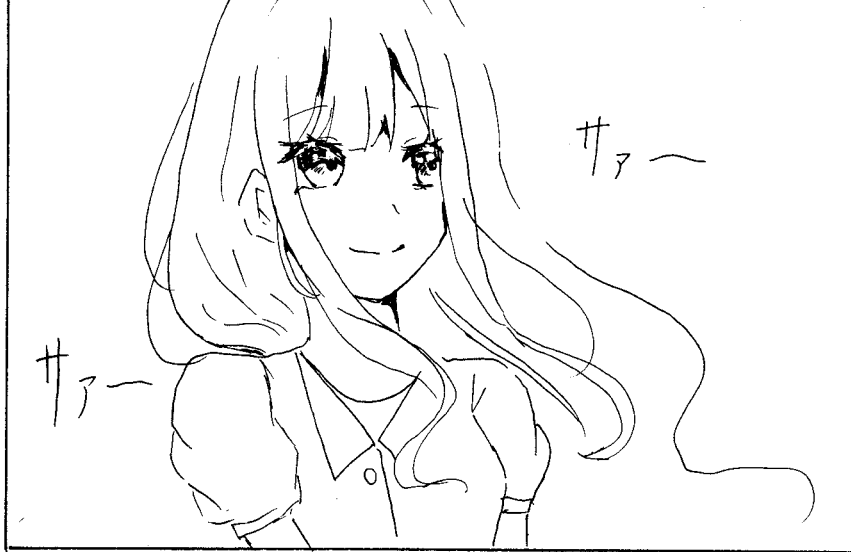
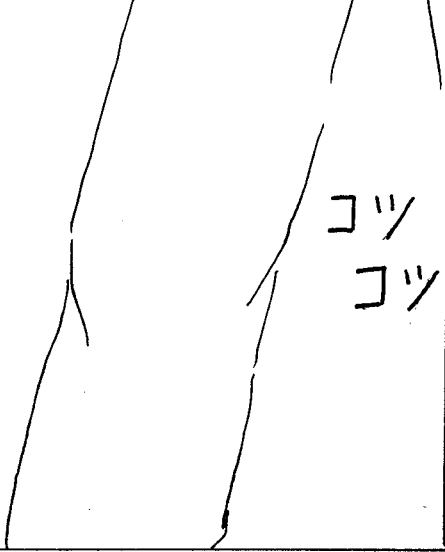
次のページでこの作品の世界観が分かる注釈が入りますが、この作品の場合は先に世界観を示すよりも、1ページ目では2人の関係性やゴミが広がっている様子はということなのかと、読者が作品に引き込まれるレベルの高い構成になっていました。

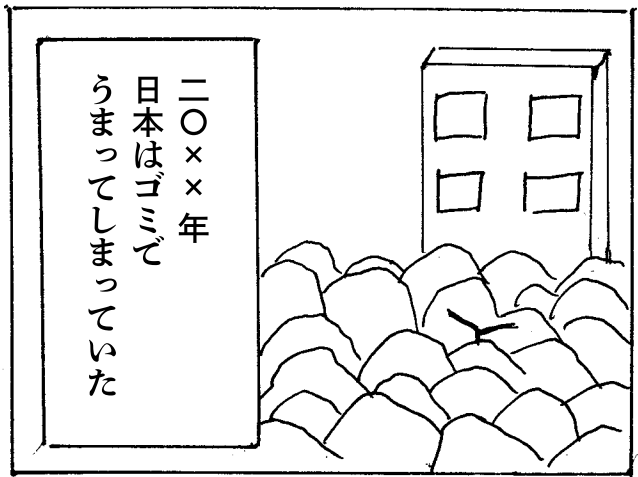
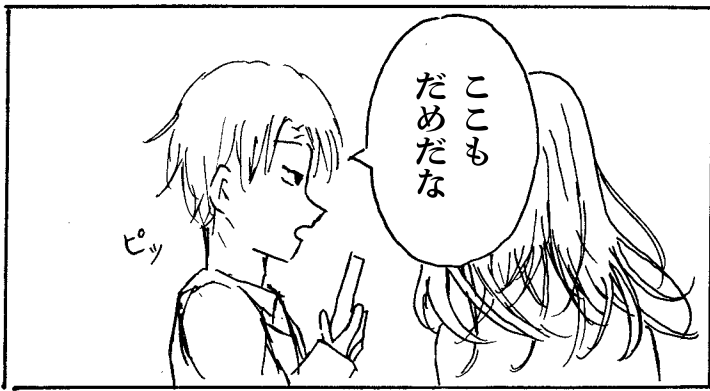
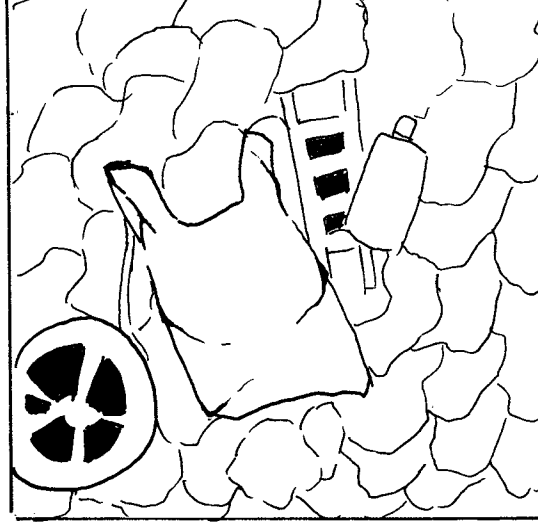
そして、会話シーンではコマが小さくても大丈夫な分スペースを節約しつつ、最後は1ページ丸々1コマのみで大胆に使っています。

このように構成にメリハリがあって女の子のメッセージが伝わりやすくなっていました。読んでみて、面白かった上に考えさせられる深い内容の作品になっていました。

 まちづくりの注目ポイント

たくさんのごみで埋もれてしまうと、有害物質が浸透してしまい、地下水などに影響し、水害汚染を引き起こすと言われています。まずは、ごみを減らすことから始めてみませんか？





あなたは
どうしたい？



ペンネーム ももか さん

No.3

題材にした「まちづくり活動」



子ども食堂

作者コメント

建物がむずかしかったけど、初めてまんがをかいたので楽しかったです。

講評 熊本コアミックス 谷中さん

最初のコマと次のコマで、いつ・どこの話なのか、どんな世界観なのか分かるようになっています。読者はここがわからないと物語の世界に入りにくいので、素晴らしい導入だったと思います。

そして、登場する主人公の千花ちゃん。首の方にうっすらラインがあって、アンドロイドの女の子であるというのが伝わるようになっていました。3ページ目で見せる表情も可愛かったです。作者に可愛く描きたい思いがあったからこそ、読者にも伝わって、素敵なキャラクターになっていると思いました。

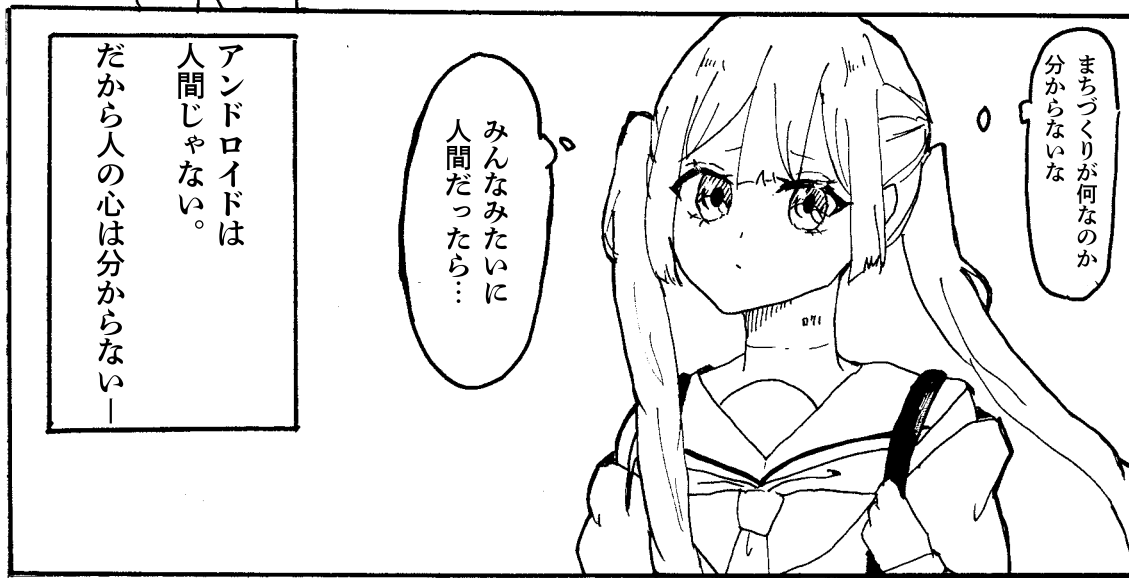
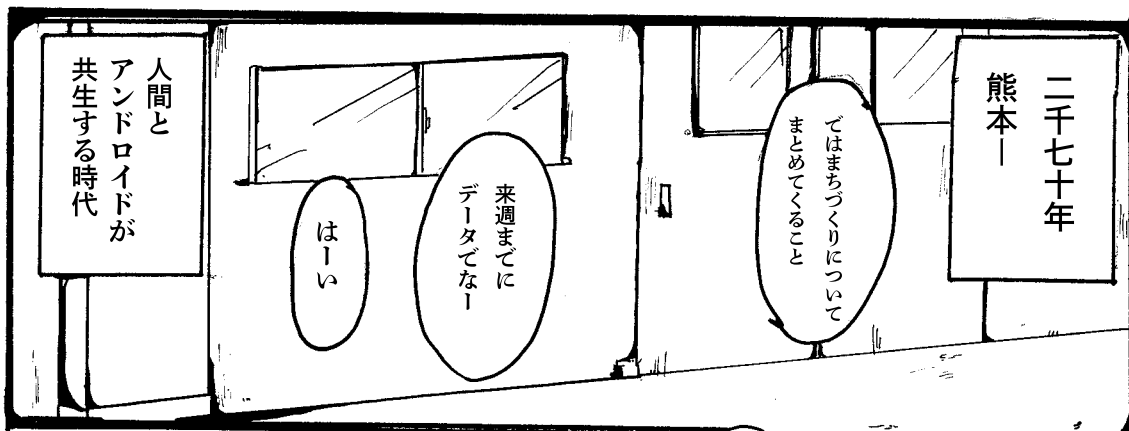
また、作品の設定が非常に面白いです。2070年のアンドロイドがまちづくりについて考えるという設定は私では思いつかなかったと思います。

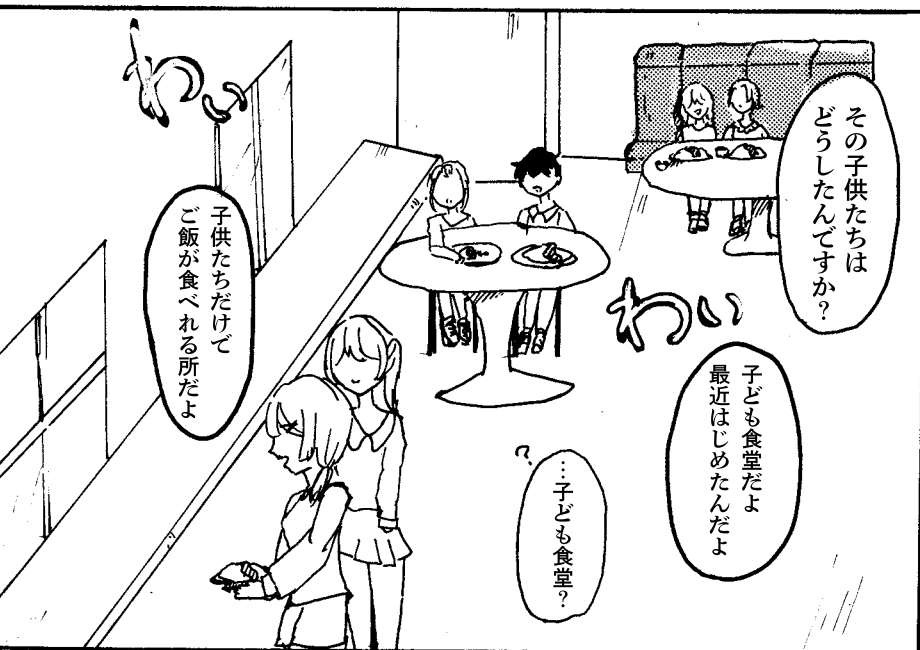
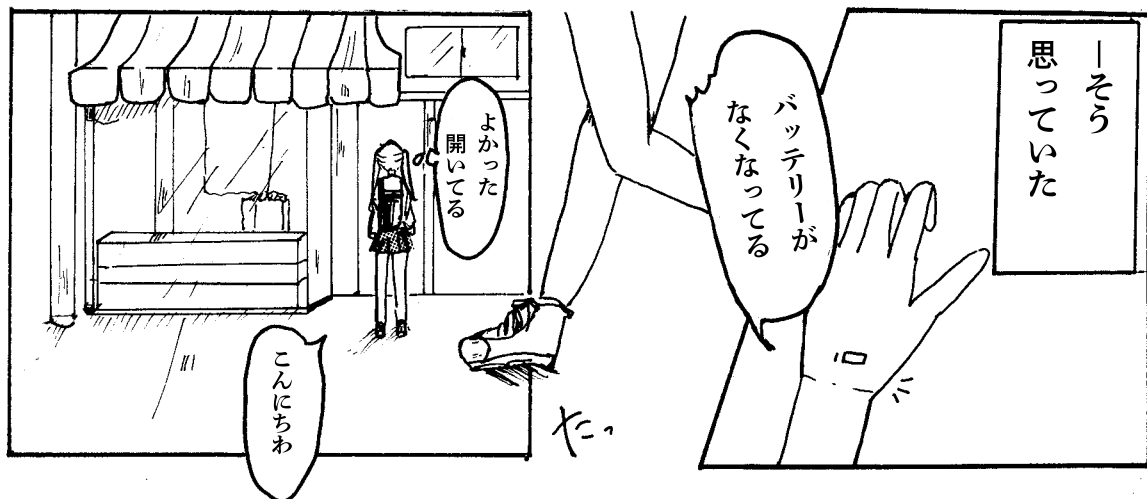
作品の構成も、充電するために訪れたカフェで出会った人の話を聞く中で感情が芽生えるという心があたたかくなるお話で良かったです。

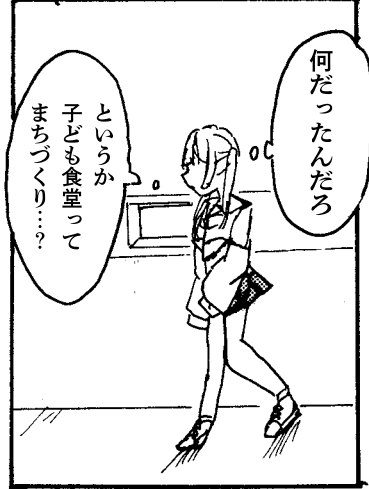
最後のオチも素敵です。読後感も爽快感がありました。

 まちづくりの注目ポイント

「こども食堂」は、地域の人や協力してくれる企業・団体などで運営し、世代間交流や子ども達の居場所づくりのために日々活動しています。たくさんの思いやりが詰まった食事を食べに行ってみませんか？







題材にした「まちづくり活動」



ごみひろい活動

作者コメント

見どころはカケアミをかんばったところです。できるだけいねいに、失敗しないようにかきました。ペン入れがむずかしかったです…！

マンガのことをまた学べて楽しかったですっ♪

講評 熊本コアミックス 谷中さん

この作品、キャラクターのデザインが非常に上手いなと驚きました。最初のコマに出てきた可愛い女の子が2コマ目ではすごい表情にデフォルメされています。

このように感情表現を大きく伝えるためにデフォルメという手法を使っているうまいなと思いました。また、コマの運びも上手なので、混乱せずに話を理解しながら読み進めることができました。

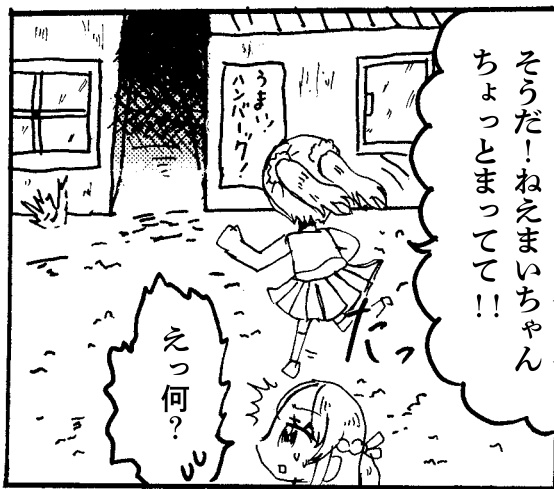
そして、女の子たちの個性も輝いています。1人はアイスを食べた後に「ちょっと待って」と急に離れて変わった人のように見えますがそこが憎めない、好感のもてるキャラクターになっていました。お姉ちゃんから言われて素直に理解するところも、作者がキャラクターの性格をイメージできているからだと感じ取れました。

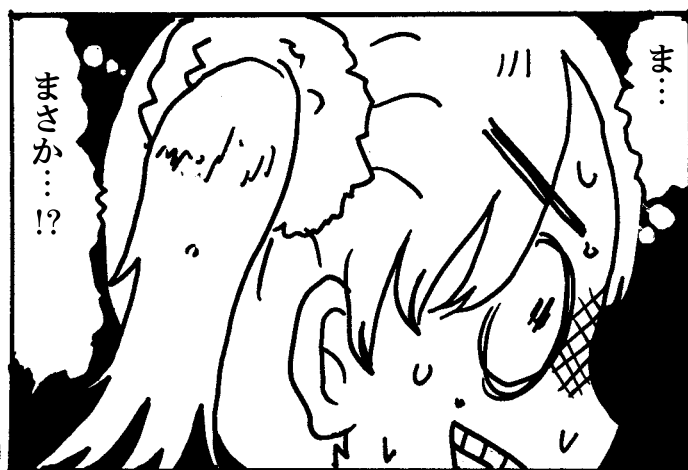
そして、カケアミも効果的に使っていて表情のバリエーションが豊かなところも、楽しめるポイントになっていたかと思います。

ごみ問題について主人公が自分ごととして考える描写があって、大人が読んでも子どもに読ませたいなと思えるようなメッセージが強い作品でよかったです。

 まちづくりの注目ポイント

ごみがあふれていると、犯罪や犯罪や事故が多くなると言われています。地域の環境美化は、キレイにすることだけでなく、犯罪行為を未然に防ぐ効果もあり！？







題材にした「まちづくり活動」

ポイ捨て



作者コメント

※（こめじるし）の所をくわしく知りたい時は、「地球温暖化 子供向け」でしらべると、分かりやすいのが出てきますよ！

講評 熊本コアミックス 谷中さん

この作品はキャラクターの描き分けが非常に良かったなと思いました。指導している高校生や賞を受賞した作家さんの中でもキャラクターの描き分けが苦手な方は多いです。でも、この作品では、2人ともキャラクターのデザインが凝っていて、どんな子だろうと興味を惹かれました。

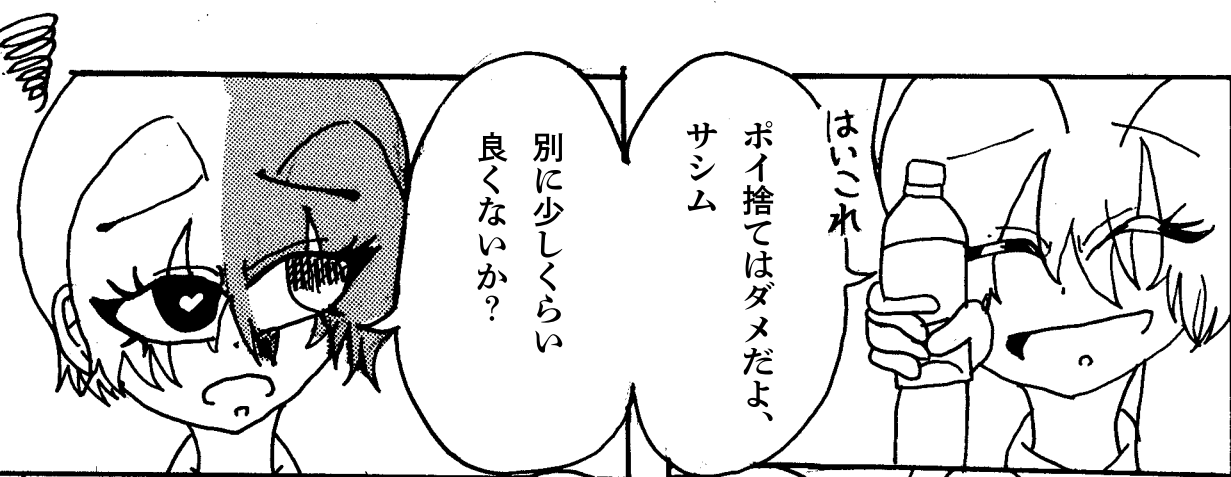
そして、2ページ目以降、読者と同じような気持ちをセリフで言ってくれるので読者をちゃんと共感させるような展開が作れているなと感じました。

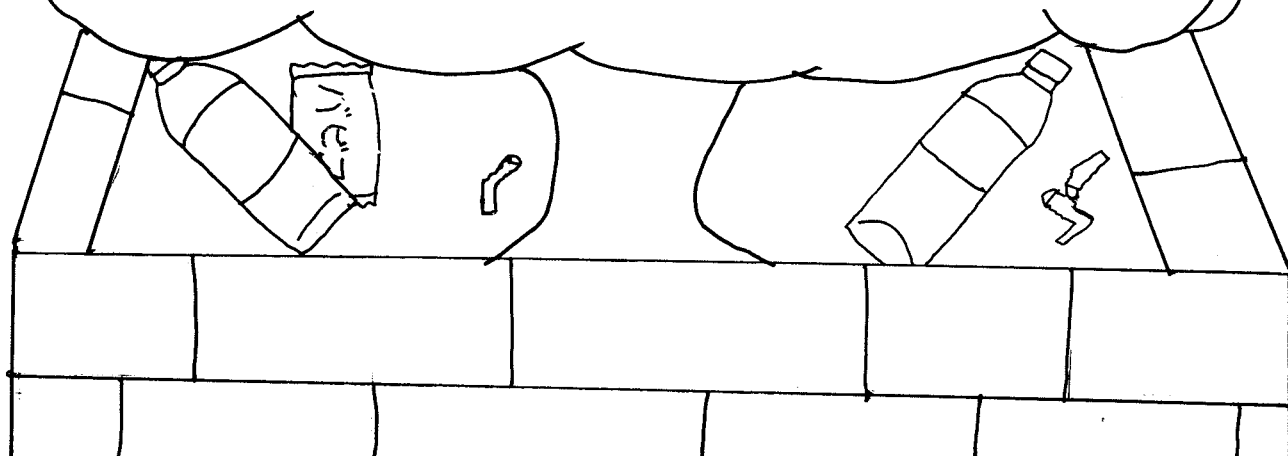
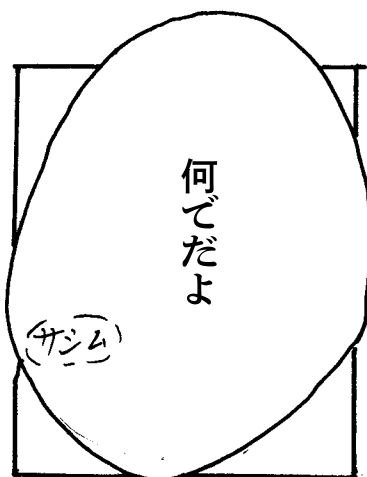
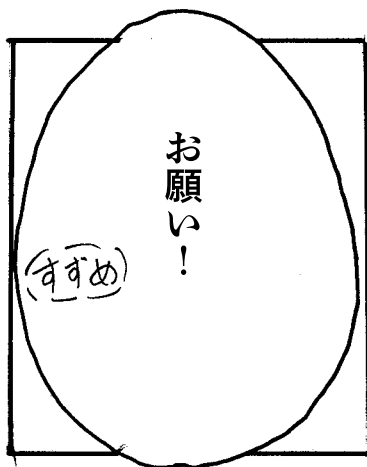
作品を通して、町にごみをポイ捨てするという行動から、地球温暖化というすごく壮大なテーマに繋げていて、勉強になる作品になっていました。

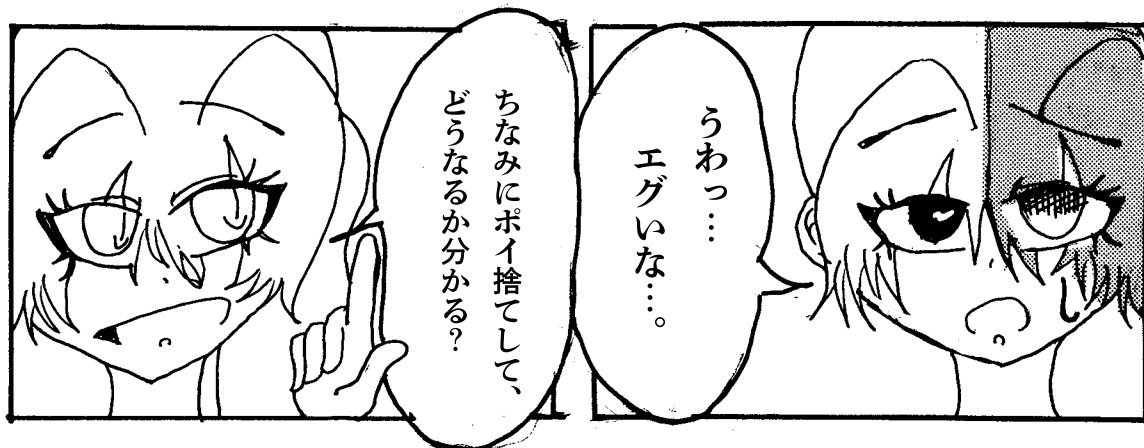
最後の2人の表情も非常に可愛くてよかったと思います。

 まちづくりの注目ポイント

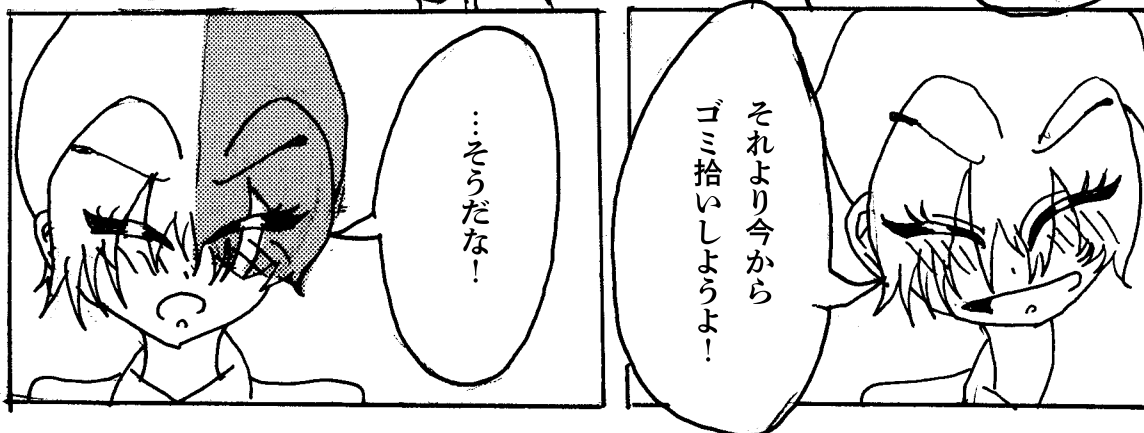
廃棄量が多いプラスチック容器包装ごみは、燃やす際に地球温暖化の原因となる温室効果ガス（CO₂）が多く発生します。温暖化は酷暑や記録的豪雨など、地球規模の気候変動を引き起こすとされています。







※地球が「あたたかくなってしまう」事



題材にした「まちづくり活動」

清掃

作者コメント

ギャグ?的なものを多数入れましたので、笑いながら、楽しみながら読んでもらえるとうれしいかぎりでございます。

講評 熊本コアミックス 谷中さん

最初のコマを見て、この話は現実世界で学校までの通学路で起きる話だというのはすぐにわかったので、この後の展開を理解しやすい導入で良かったと思います。

画風的に、最初はシリアスな話かなと思いましたが、意外とギャグシーンが含まれていて、ついクスッと笑っちゃいました。

読み終わって女の子もお兄ちゃんも最初と印象が変わるように感じます。

マンガではキャラクターが大事なのですが、キャラクターの魅力の見せ方というのは3つあります。

1つ目はビジュアルです。やはり、キャラクターが可愛かったり、カッコいいとみんな好きになりやすいと思います。

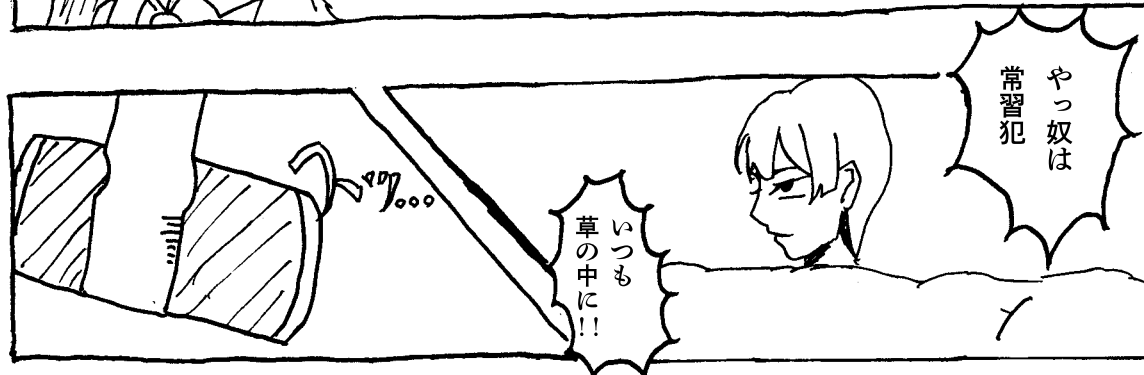
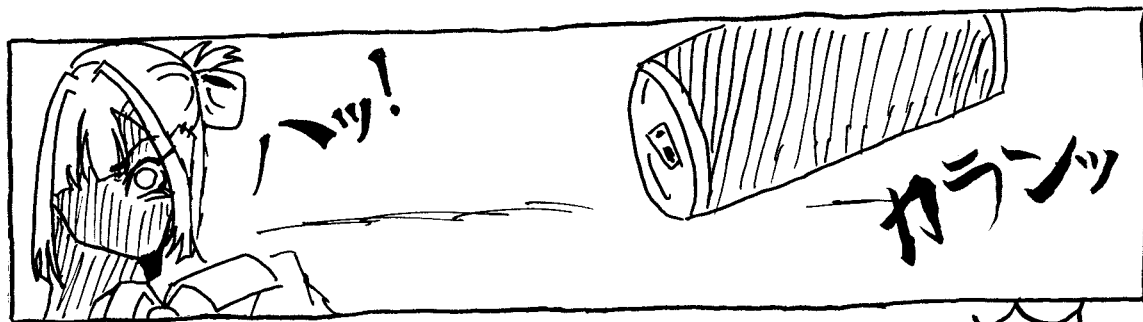
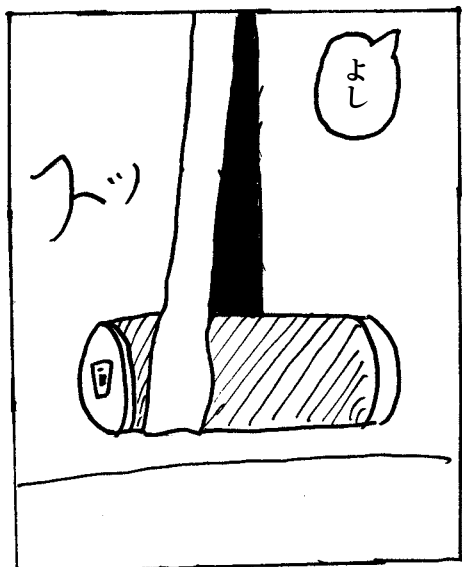
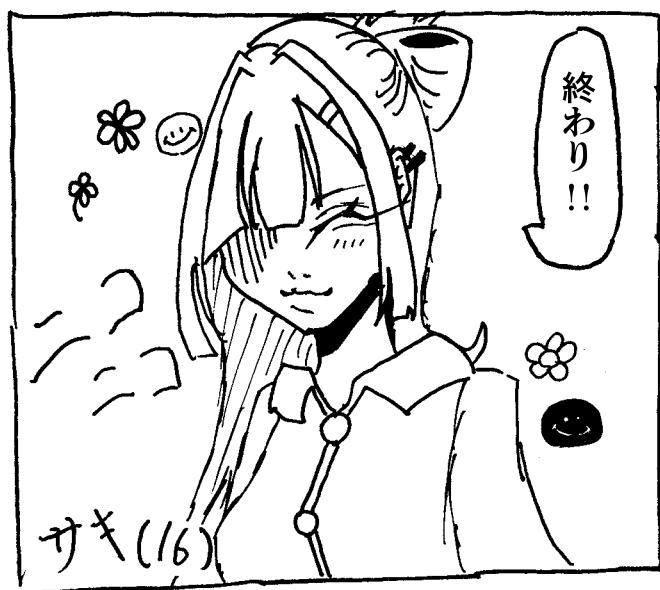
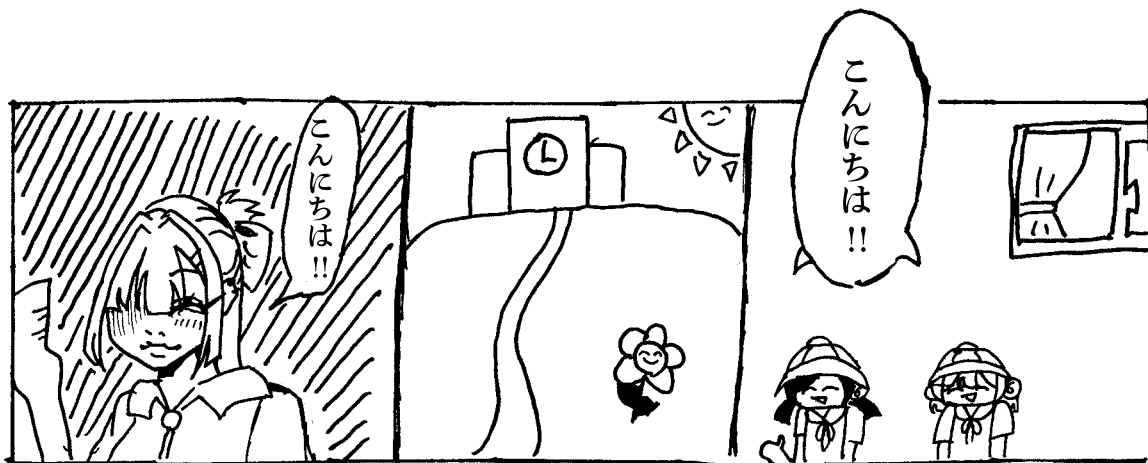
2つ目はギャップです、最初の印象と中身が違くと驚きがあって魅力になります。

最後に内面・性格です。この作品の主人公も一見クールだけど中身が分かったと共感しやすくなって応援したくなります。

これらのポイントが揃ったキャラクター作りができている素敵な作品でした。

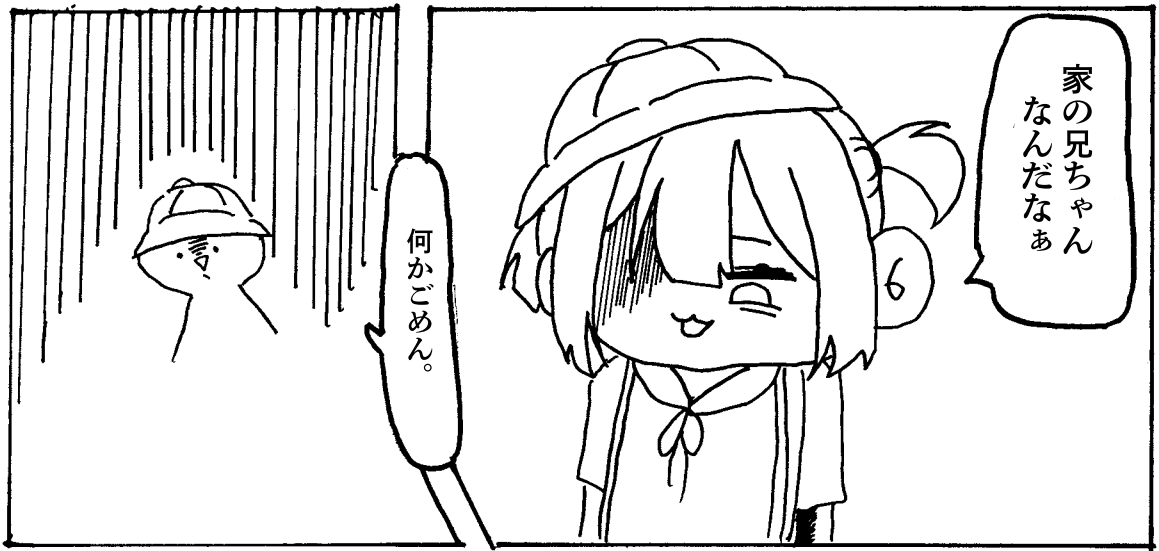
 まちづくりの注目ポイント

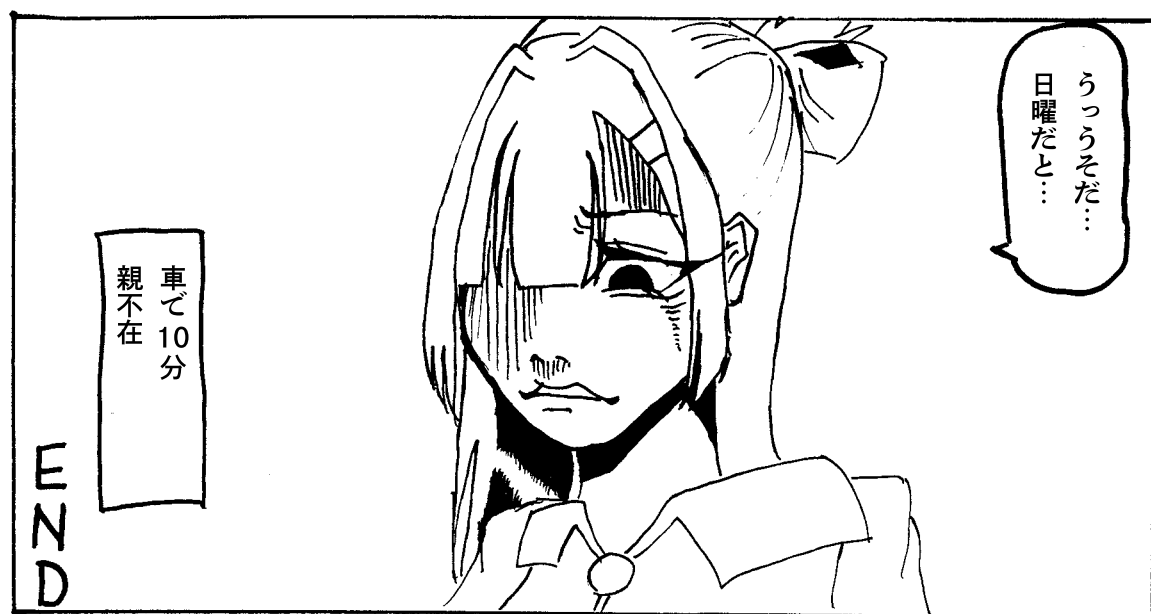
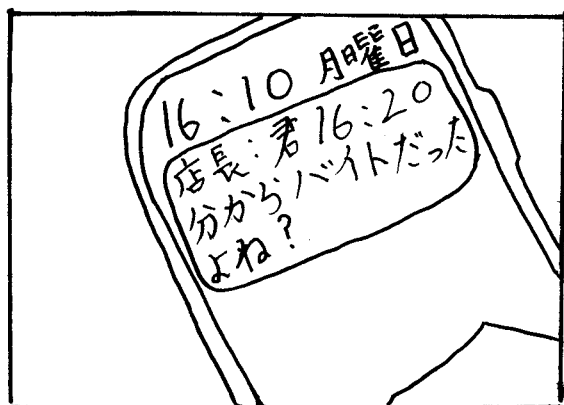
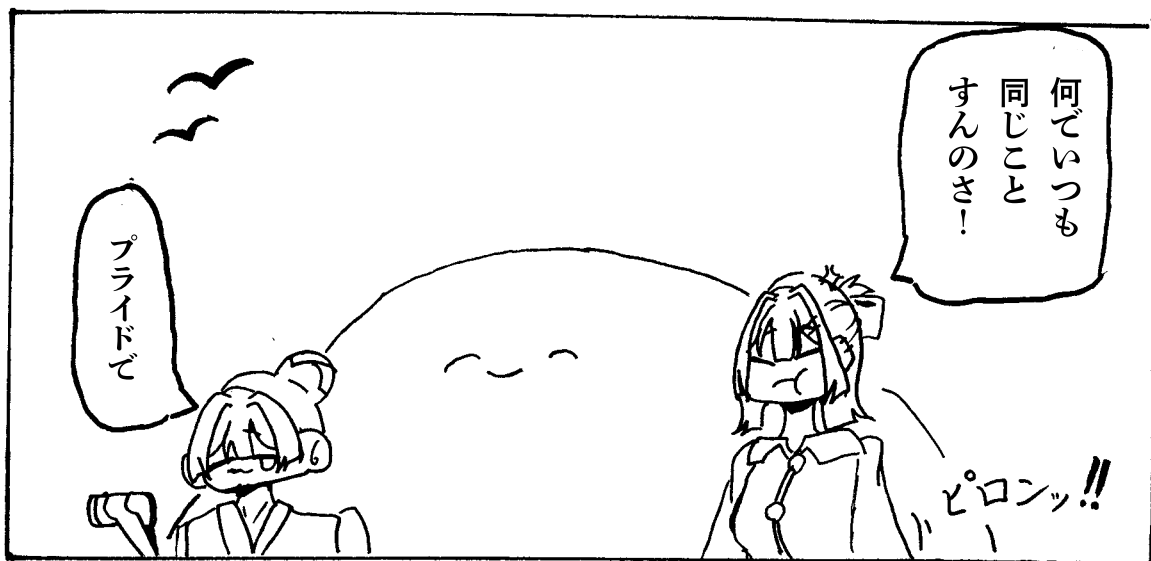
公園の美化活動は、地域の人で結成された公園愛護会やボランティアなどで実施しています。誰でも気持ちよく利用できる場所となるよう活動しています。
「来たときよりも美しく」の思いやりを持った行動を実践できたらいいですね。





※変T=変なTシャツの人





**題材にした「まちづくり活動」****ごみ拾い****作者コメント**

内容を考えたりコマわりとかがとてもむずかしかったです。

講評 熊本コアミックス 谷中さん

全体的にレベルが高くてびっくりしました。キャラクターデザインが可愛い上、構成力も高かったです。

物語作りというのは基本的に起承転結の4段構成で考えます。

この作品では、まず「起」で川にごみが流れているという問題が発生します。女の子がどうしようと困っている所に、くまモンが現れるという「承」の展開があります。物語が大きくなっていくということです。

そしてこの問題どう解決するかという「転」で、2人で協力して掃除をします。

最後の「結」で、くまモンが突然川に飛び込むというクスッと笑えるオチがあって物語の構成が上手だなと思いました。

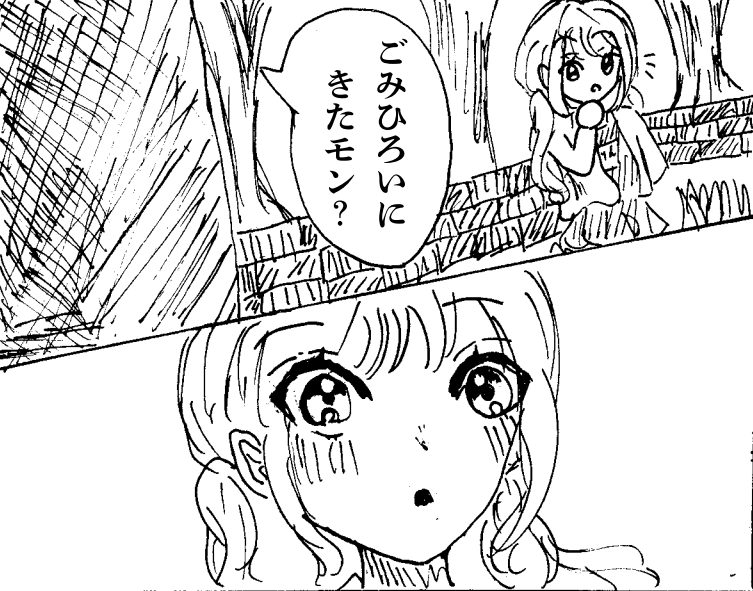
ほかにも、主人公の名前を1コマ目の水着のゼッケンに入れていて、キャラクターの名前が分かる、読者に優しいアイデアだなと思いました。

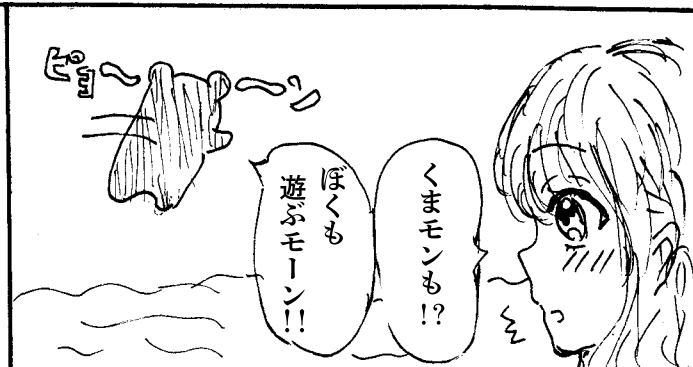
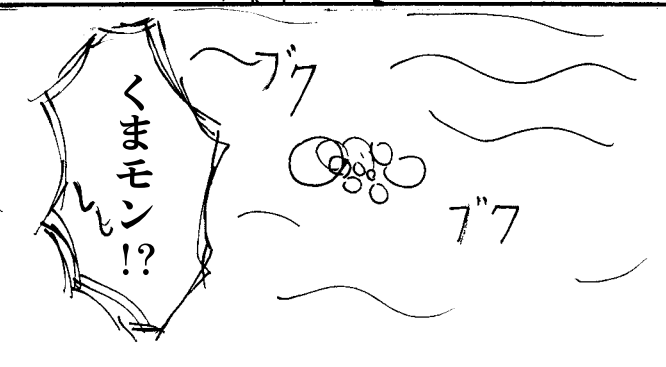
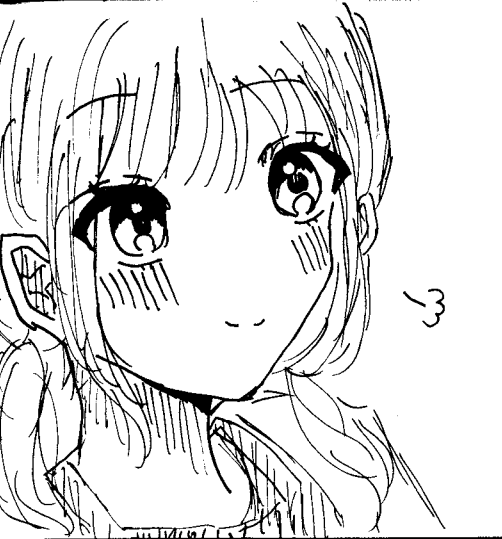
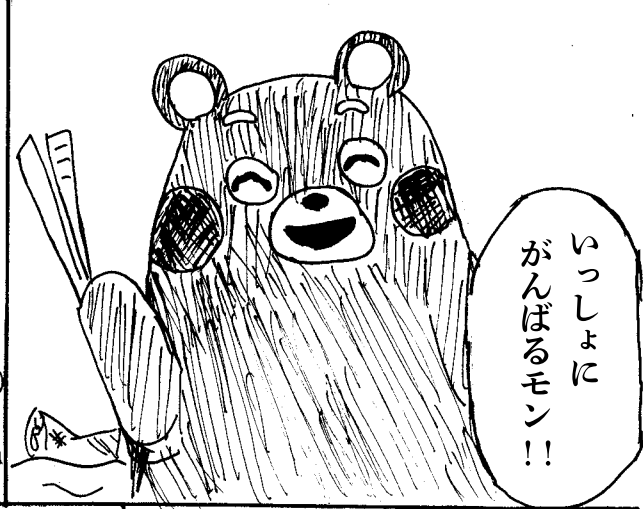
若干の顔のバランスが崩れているところがあったので、今後は顔のパスが取れるようになると、より魅力的な作品になると思いました。

**まちづくりの注目ポイント**

ごみ拾いは、身近なまちづくり活動です。地域の人やボランティアで行われています。まちをキレイにして、そのまちのことも好きになれる。ぜひ参加してみませんか？







題材にした「まちづくり活動」

交通安全



作者コメント

描いてみた感想は、3ページだけだからすぐ終わると思ってたけど、スクリーントーンに苦戦したりして、なかなか早く終わりませんでした。

講評 熊本コアミックス 谷中さん

人間以外の動物やモノの感情ってなかなか描きにくいものですが、表現力がある方だなと思いました。

1ページ目3コマ目の車は、ヘッドライトが目のような形に見えていて、「ブーン」という文字や効果線（エフェクト）で車が差し迫る危機感をしっかり伝えています。

また、横断を止めようとする表情がオーバーに描けています。やはりこれぐらいオーバーに描かないとどれだけの危機が迫っているかというのは読者には伝わらないです。

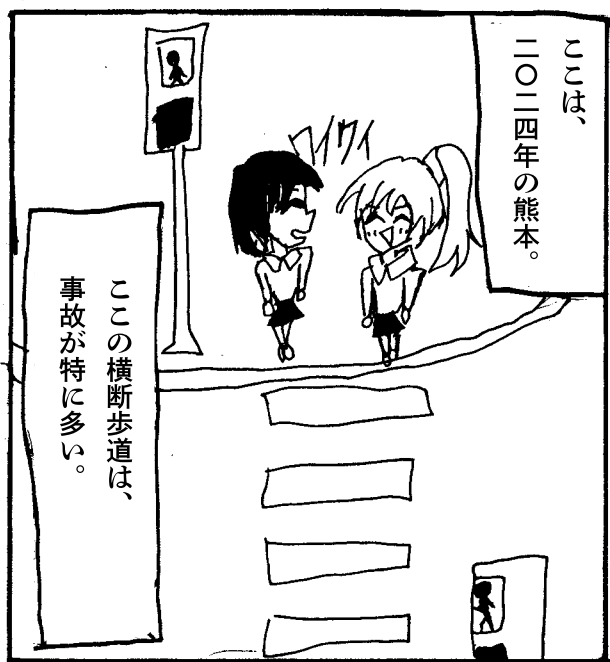
そして、次のページでは場面が切り替わってヒーローが登場します。しかしピンチが続き、読んでいてハラハラする展開がちゃんとできています。

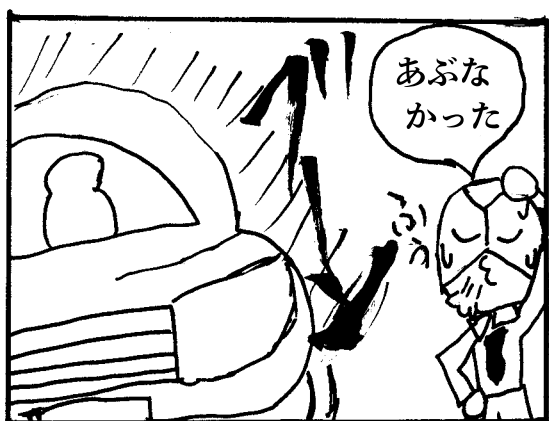
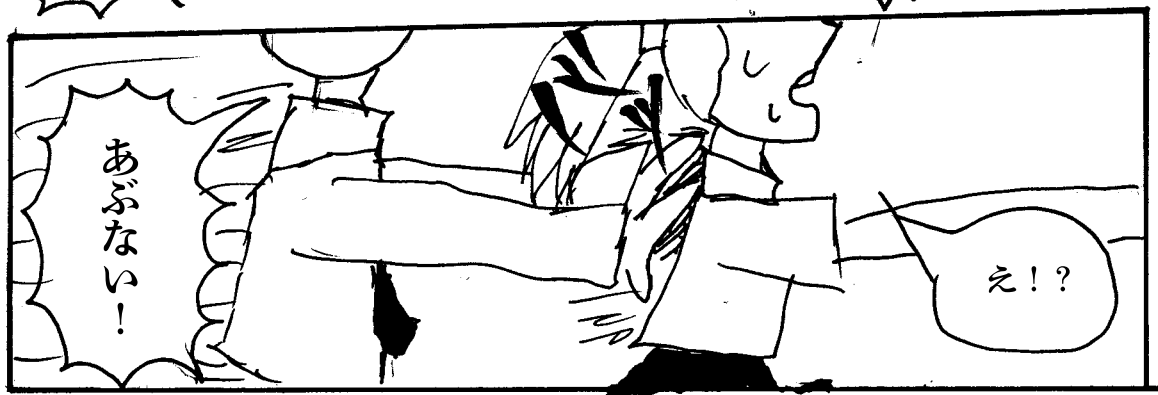
ピンチを救うヒーローというカッコいいイメージがありますが、最後のページでは逆に表情が崩れて可愛くなっているのもギャップがあって、ヒーローのことを好きになれるいいコマだなと思いました。

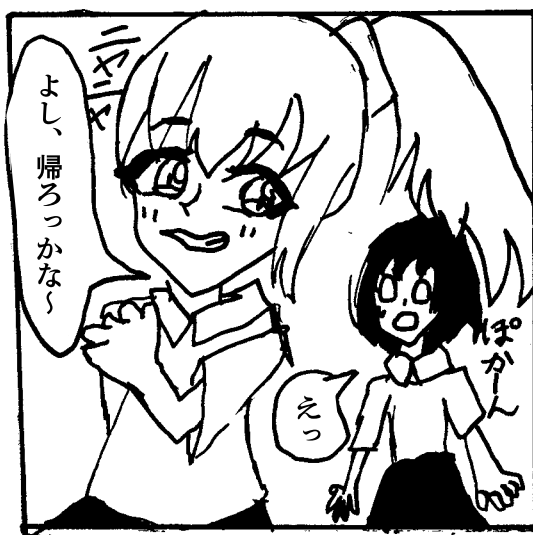
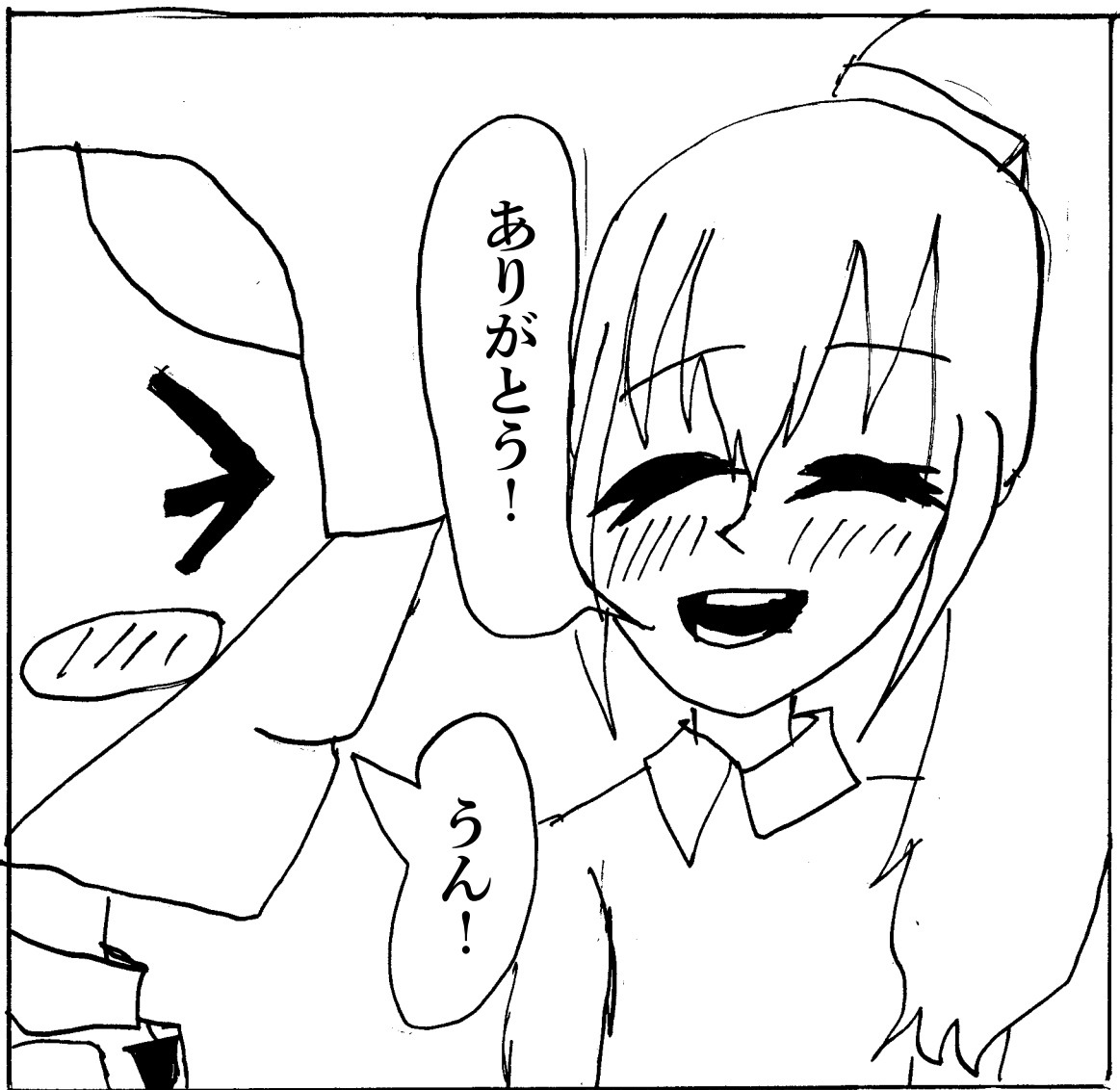


まちづくりの注目ポイント

登下校時など、みなさんを見守る活動もまちづくりの一環です。地域の人・学校の先生や保護者など、たくさんの方の協力により、安全・安心が保たれています。







題材にした「まちづくり活動」

川のゴミ拾い

作者コメント

このマンガを描きながら「今度ゴミ拾い活動してみようかなー」と思ったことがありました。マンガって人の心を動かす力があるんですね！

講評 熊本コアミックス 谷中さん

最初のコマで何をしているか（釣りをしている）が伝わるのがよかったです。

そして次のコマで釣りをしているのが美少女だとわかった時はとても意外でこの先が気になる始まり方になっていると思います。

3コマ目では新たに2人の女の子が登場しますが、3人とも外見だけでも性格が伝わるくらいビジュアルが凝っているので、次の展開を期待させてくれるようなキャラクターデザインができています。

また1ページ目最後のコマではページめくりを意識したコマ割りができています。

2ページ目のごみが頭に落ちてくるコマは難しい構図にチャレンジしていますが、細部まで上手に描けていました。

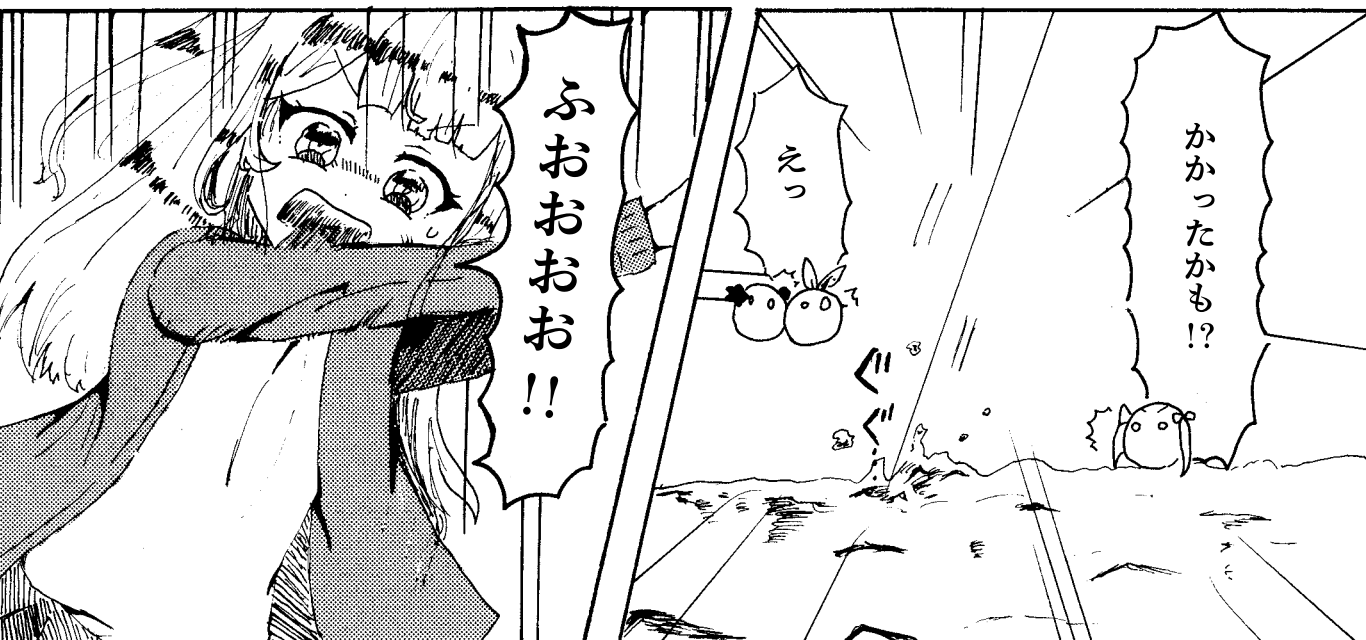
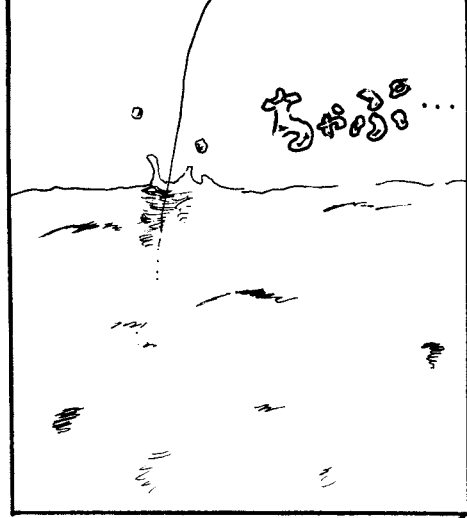
問題に直面した主人公は、ゴミを拾おうとするだけでなく、ここで魚釣りをするのも止めようとしていて、2つのポイントでメッセージ性がありました。

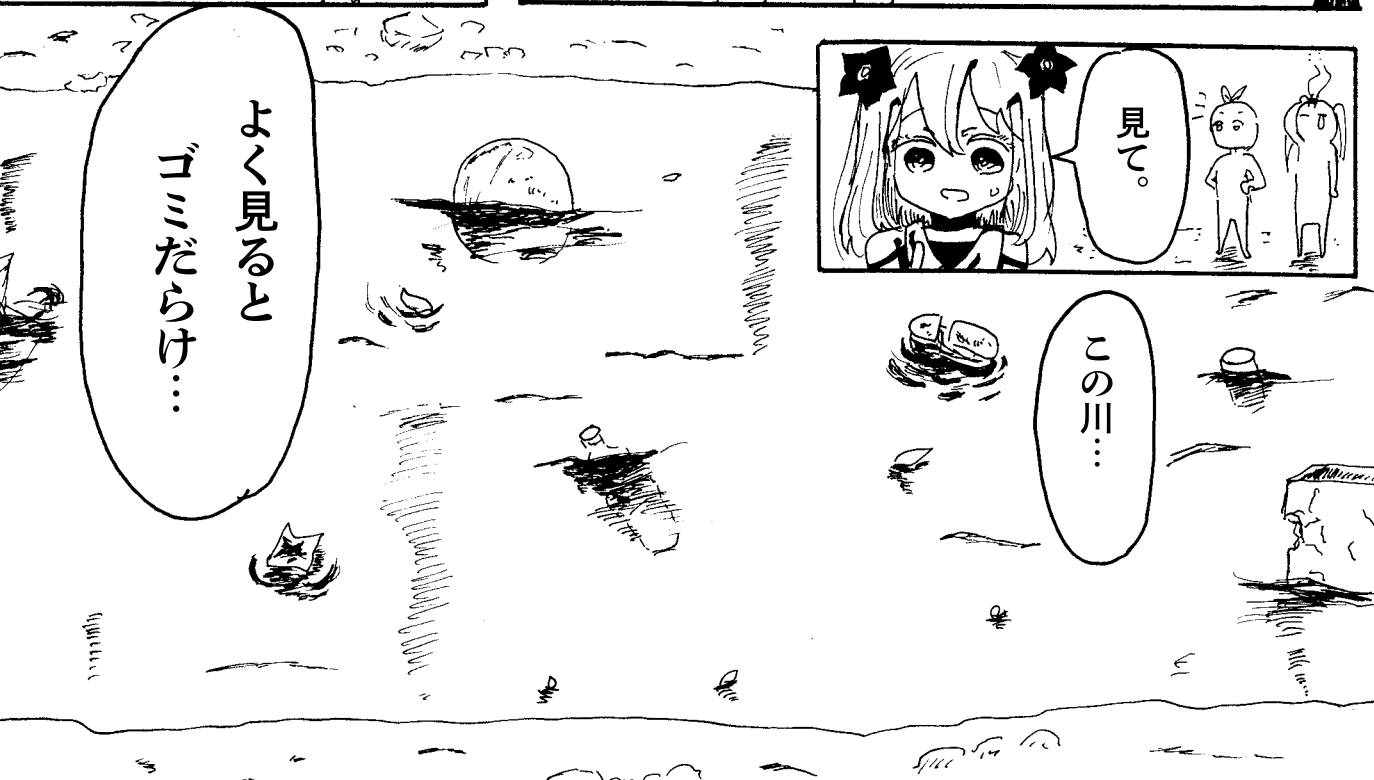
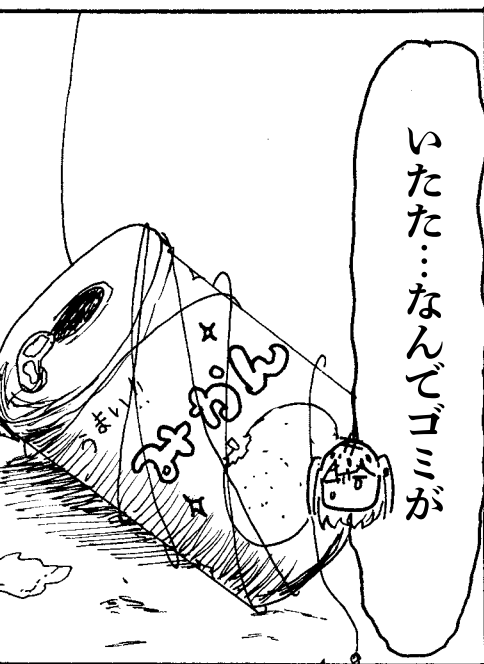
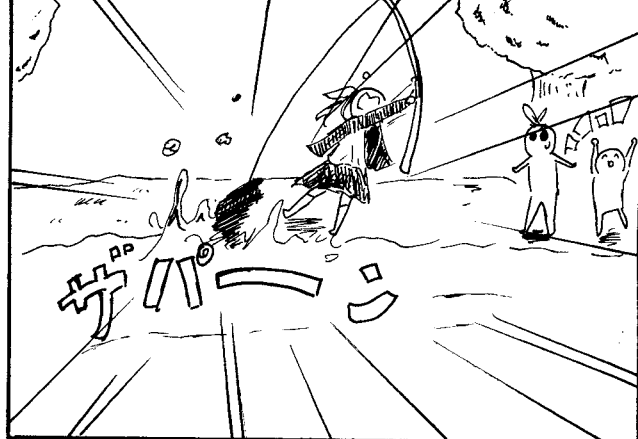
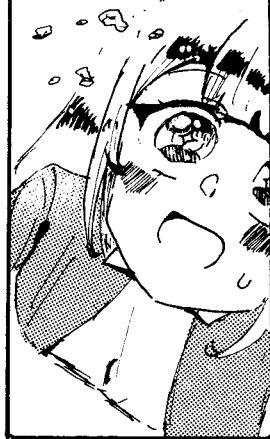
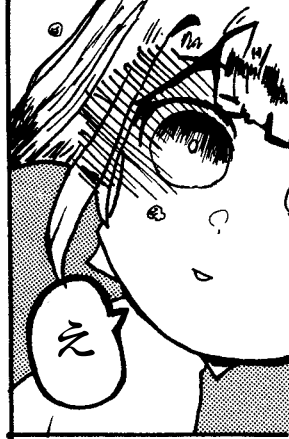
最後の吹き出しで倒置法を使っているのも強い印象に残りやすく、オチも良かったです。読んだ後に気付きを得るような作品でした。

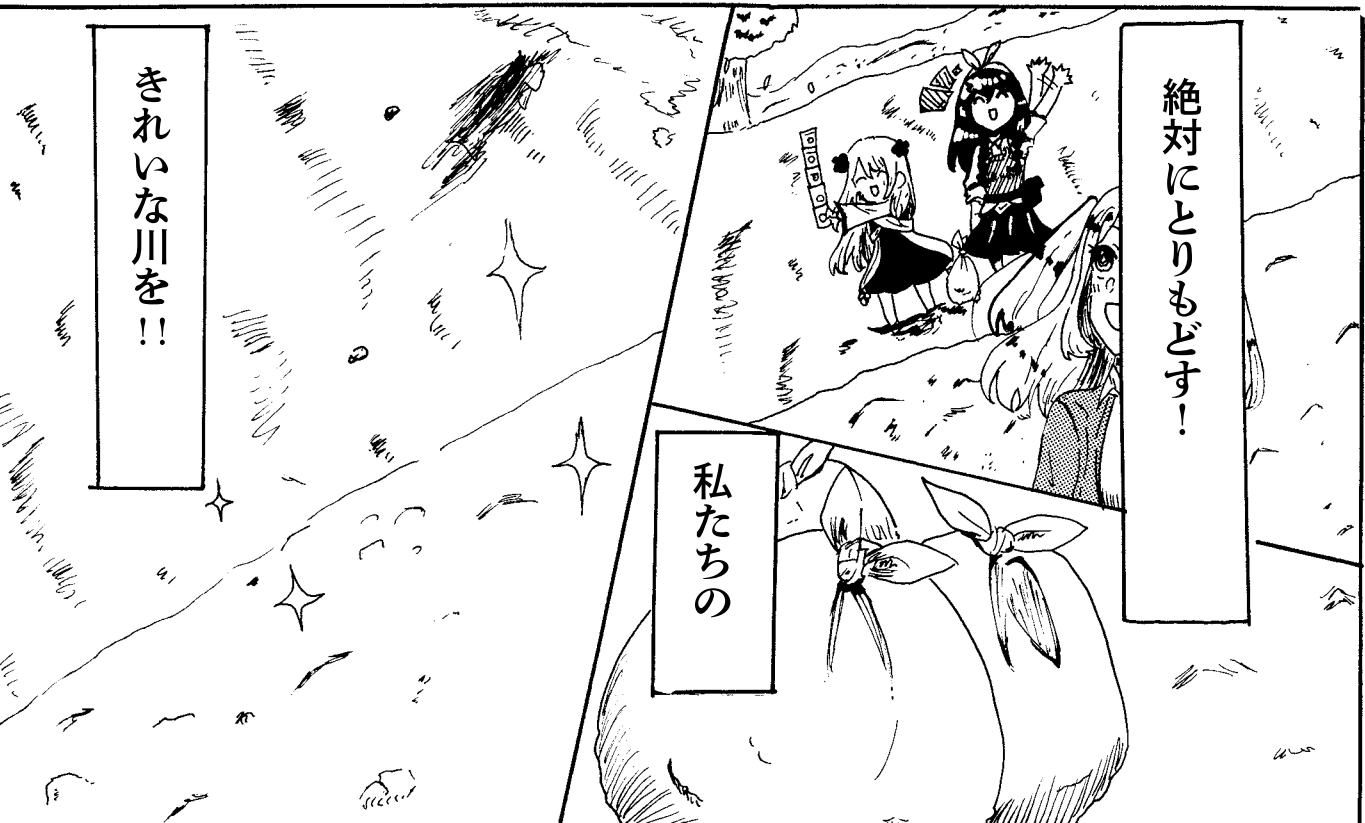
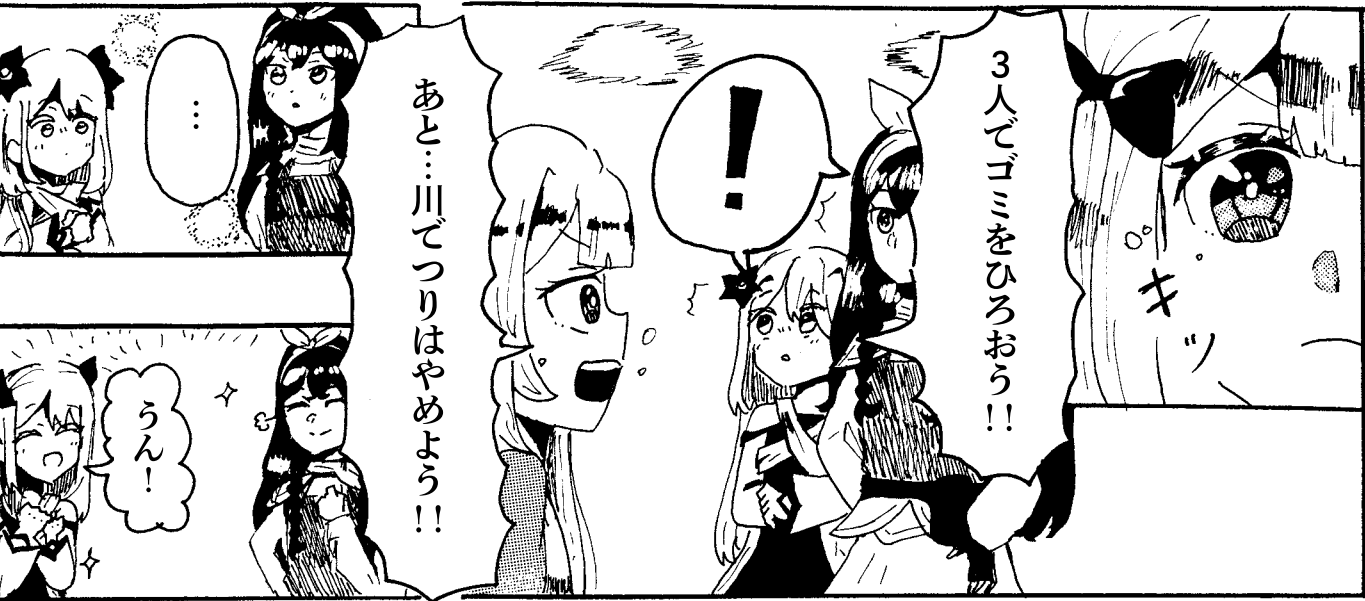
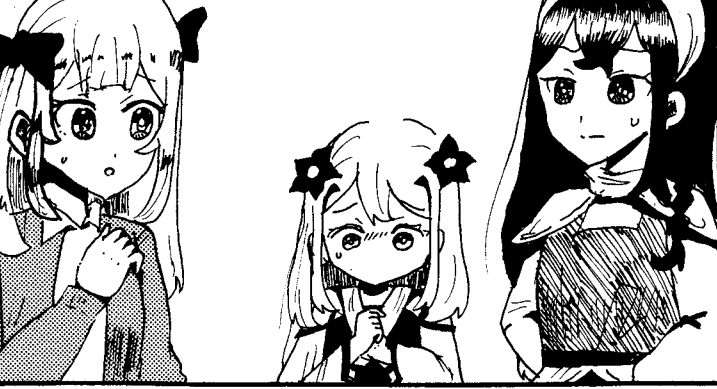


まちづくりの注目ポイント

不法投棄やポイ捨てなどで自然界に流出したプラスチックなどのごみは、河川等を通じて、海にたどり着き、海洋汚染を引き起こす原因となっています。







**題材にした「まちづくり活動」****ゴミ(ゴミを捨てたらどうなるか)****作者コメント**

かいてみて、わたしは まんが のむずかしさを知りました。先生の話もためになり、いつもよりたのしく絵がかけました。

講評 熊本コアミックス 谷中さん

この作品は全体的にコマ割りがすごく面白いなと思いました。まず、舞台がどこで主人公が誰なのかという世界観の導入がしっかりありました。

そして、主人公には聞こえていない声がどこかからしているけど「何だろう?」と読者に疑問が残る形で次に進むので、ページをめくりたくなる工夫がされていて素敵でした。

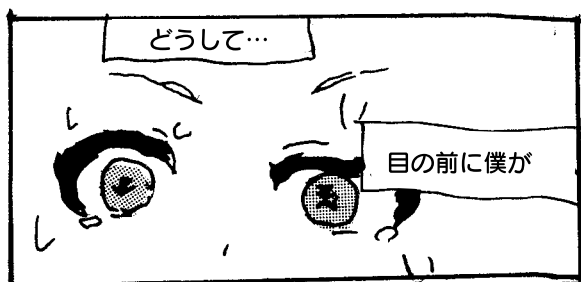
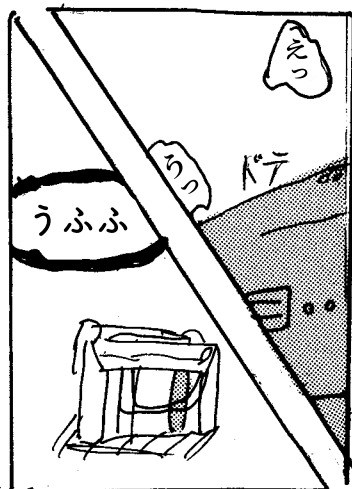
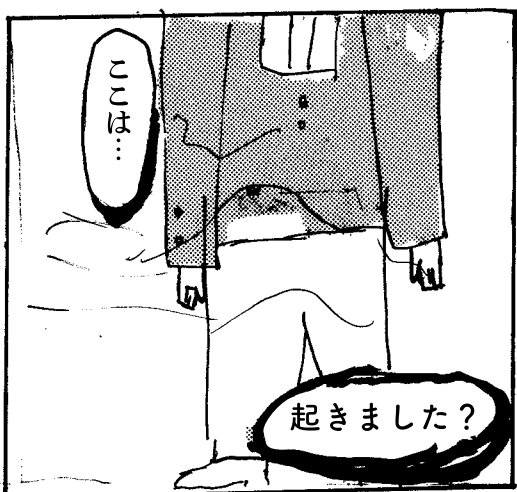
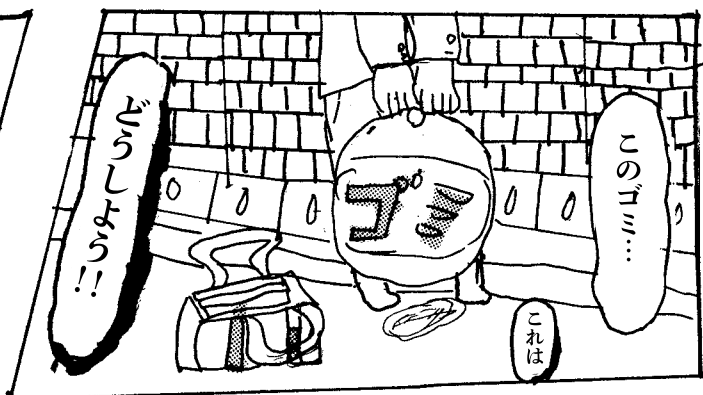
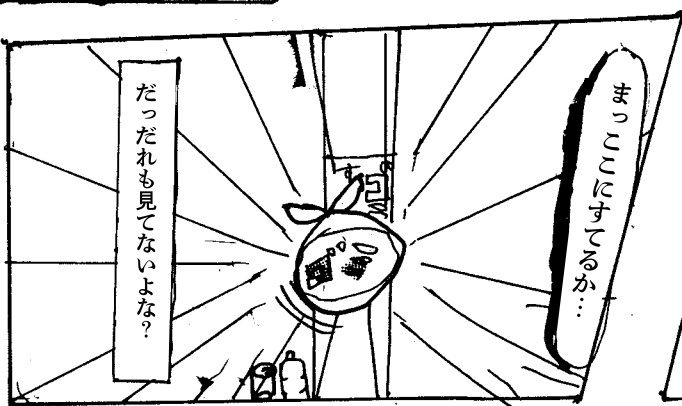
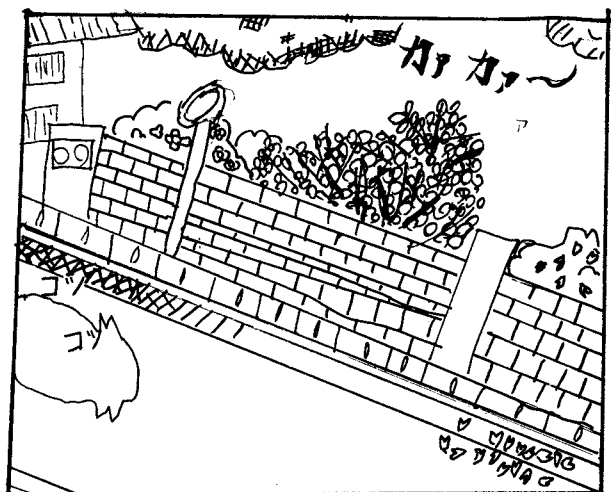
疑問が重なりすぎると読者も読むのをやめてしまうのですが、次のページで疑問に対する答えがすぐわかるのも良かったです。

全体のストーリーも主人公が影になったことで、自分の行動によって何が起きているのかを知って解決に導くという物語の縦軸ができていたので良かったと思います。

惜しむべくは最後のページの下段がどの順番で読むか分かりづらかったので、ここが理解できるようにできていたら、より多くの人に読んでもらいやすくなるのかなと思いました。

**まちづくりの注目ポイント**

地域の人やボランティアなど様々な人の関わりによって、キレイに保たれているまち。普段何気なく通っている道や公園などに目を向けてみてください。たくさんの方の協力によりキレイなまちがつくられています。



はあ～
自分の体
を見て下さい



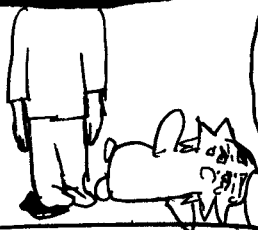
わたしですか…
わたしはあなたの「影」です
まあいまはあなたの体ですけど



だ、誰だよ…
お前

いま、あなたは「影」です
明日…わたしはあなたの
体をつかわせてもらいます

ありがとう



返してくれるなら…

手が黒い…



なんだこれ…

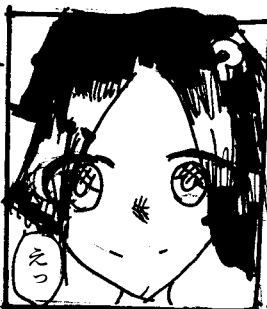
さくらちゃん…



どうしたの

体調わるい？

わっ僕は元気元気



ふわあ

おはようございます！

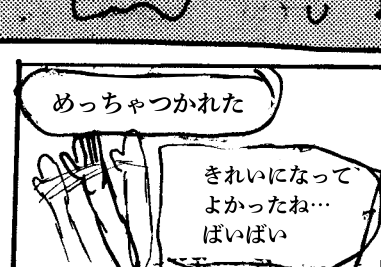
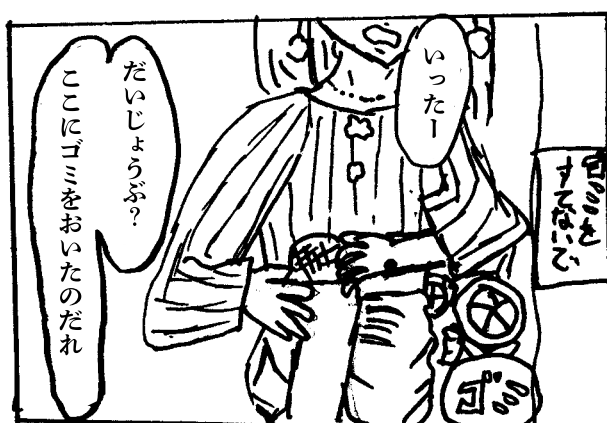
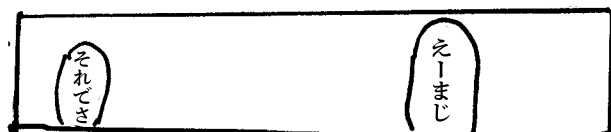


おかあさん

じゃあ
いってきます

よかった
いってらっしゃい





**題材にした「まちづくり活動」****ポイ捨て・ゴミ拾い****作者コメント**

ポイ捨てのない世界にしよう。

講評 熊本コアミックス 谷中さん

まず、1コマ目の「やっとできた」というセリフ、2コマ目の奥に見える人影、そして明かりがついた描写の後に目が開いていてロボットのことだろうとすぐに伝わりました。

また、博士は髭がすごく長く描かれていて、みんなのイメージする博士の要素なので、説明の吹き出しがなくても、キャラクターデザインでこのキャラクターが何者なのかを読者にどう伝えるか、きちんと考えられているのが伝わってきました。

次のページでは博士とロボットが外に出たので、影があります。こういったリアリティを出すための気配りも非常に良かったなと思います。

そして、ロボットをゴミ拾い大会に参加させて博士はパラソルの下で休憩して何もやっていないという展開は笑っちゃいました。

最後、ロボットに感謝を伝える博士の場面からひょっとして博士は地球環境より賞金が大事だったのかなと博士の人柄が見えて良かったです。

これから先、キャラクターデザインをよりきれいに描くことができるようになると自分自身の描きたいイメージを幅広く表現できるようになるので、自分自身が描きたいキャラクターというのを突き詰めていただければなと思いました。

**まちづくりの注目ポイント**

ごみ拾い活動は、現在も様々な場所で行われています。ポイ捨てがなくなれば、まちがキレイになり、暮らしやすいまちにつながります。

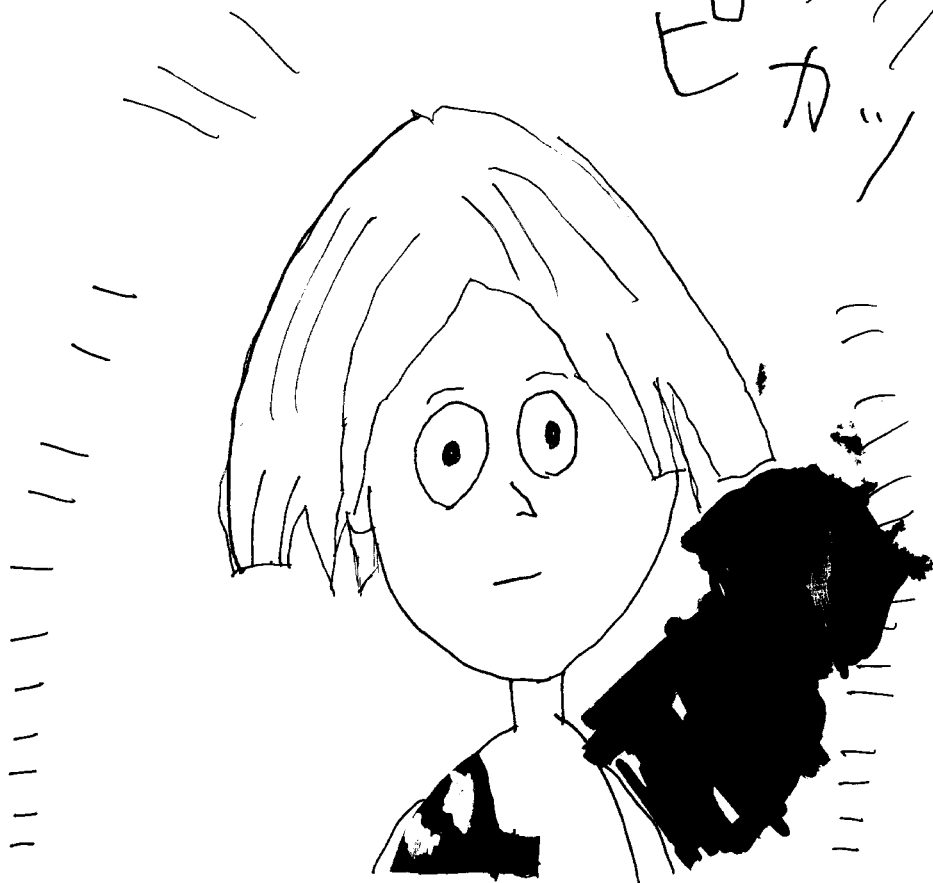
カタカタカタ

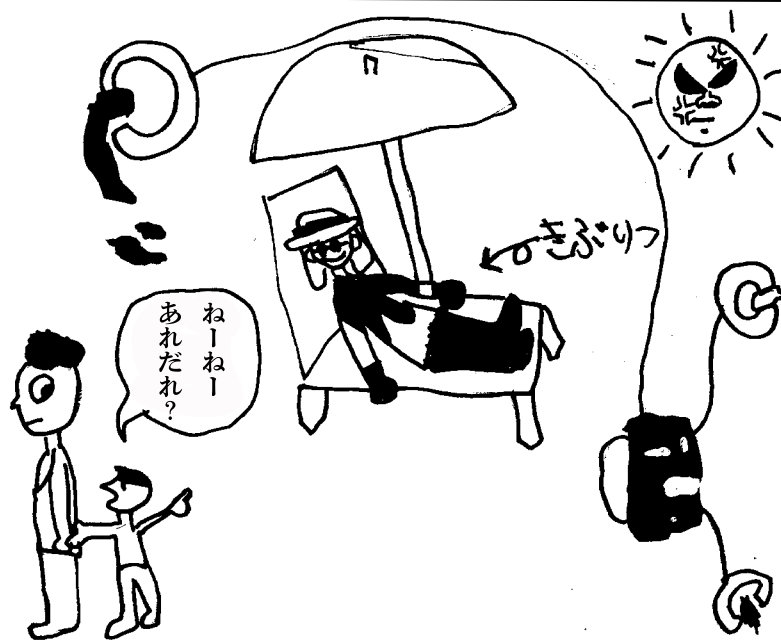


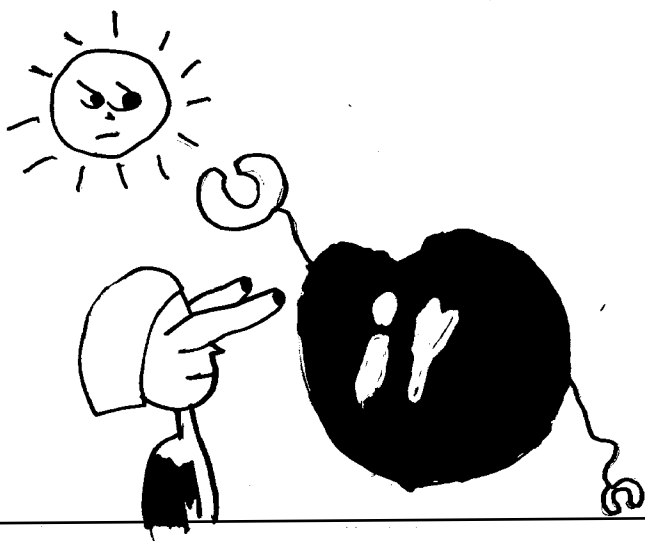
ふう
やっとできた



ピカッ





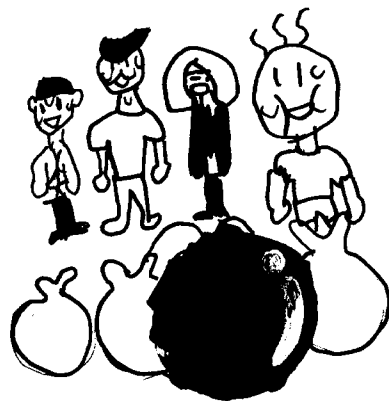


3時間後

きぶりっ



ゆうしょう者は…



ありがとう!!!

はい
はかせ
一億円

一億円って
なに?

あ、ありがとう

しょう金
一億円です



題材にした「まちづくり活動」

ポイ捨て

作者コメント

初めてのマンガでしたが、とてもむずかしく、工夫しなきゃいけないのがたくさんありましたが、楽しかったです！

講評 熊本コアミックス 谷中さん

この作品はアイデアが非常に面白いなと思いました。

2ページ目に登場する捨霊（すれい）など作者ならではのアイデアがあってオリジナリティある作品に仕上げられているのが非常によかったと思います。

1ページ目では、邪魔だと虐げられる主人公を見て、読者は「このキャラかわいそう」と応援したくなる構図になっていたと思います。

そして、1ページ目の後半では主人公が動物を助けようとしめます。周りからは虐げられていても、生き物へのやさしさは忘れていないキャラクターなんだというのが伝わっていて良い導入でした。

今度は、運転手側の目線で本当にぶつかりそうというのが分かるようなシーンがしっかり描けています。

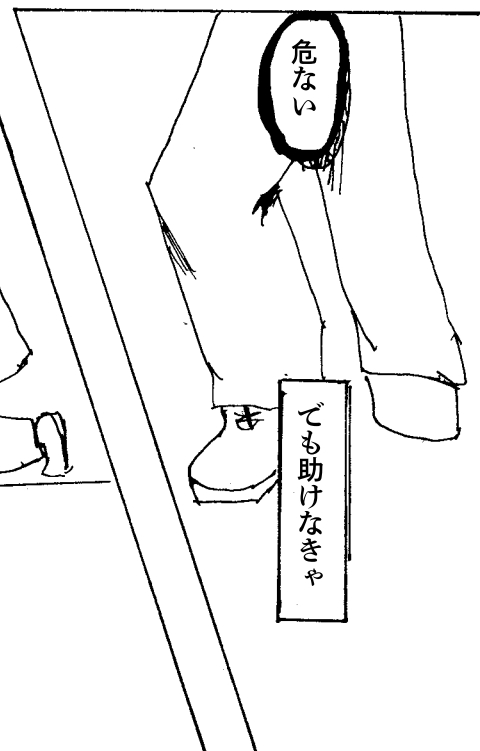
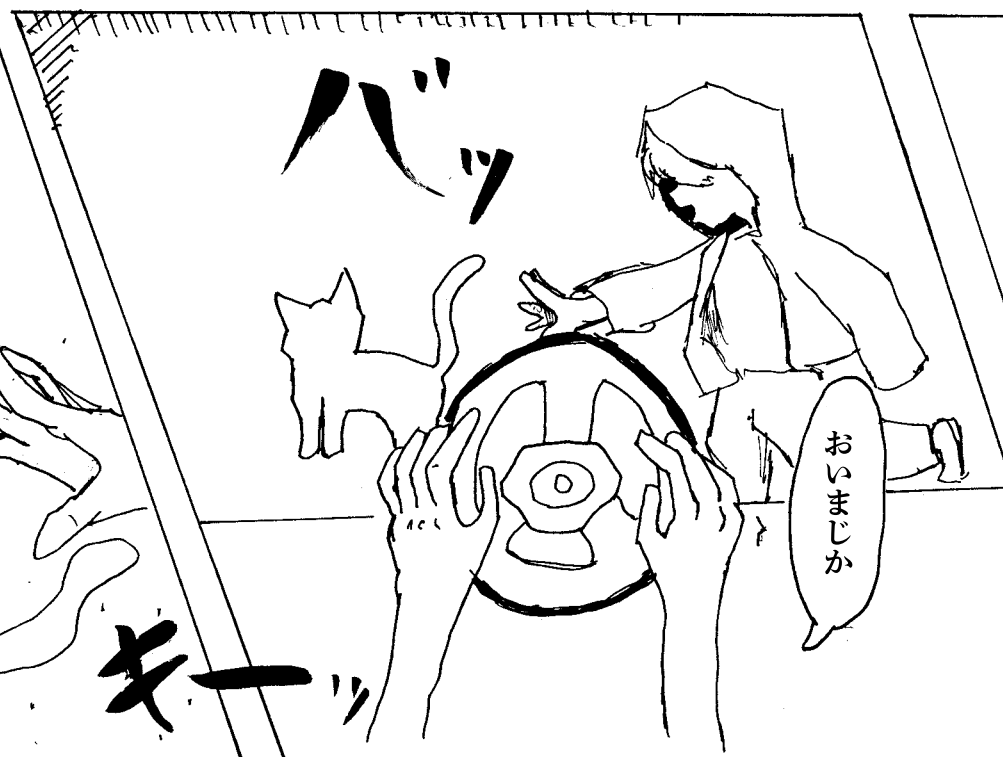
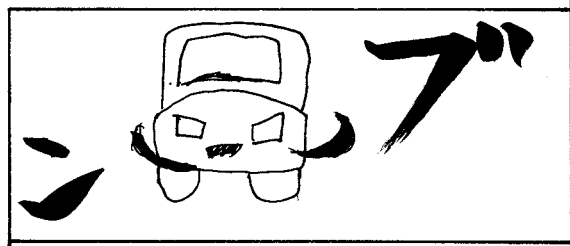
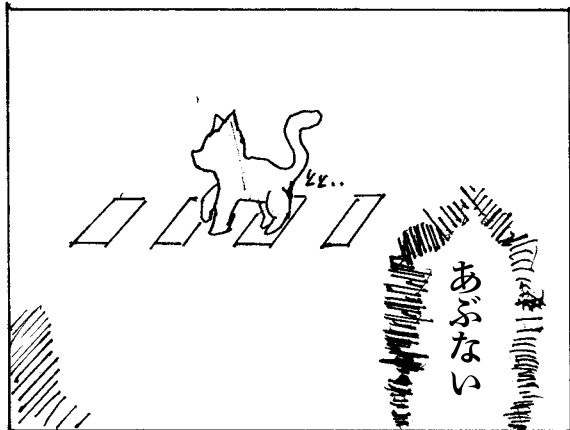
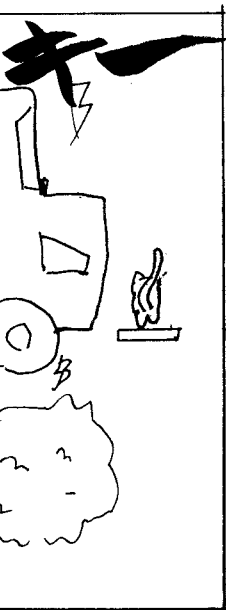
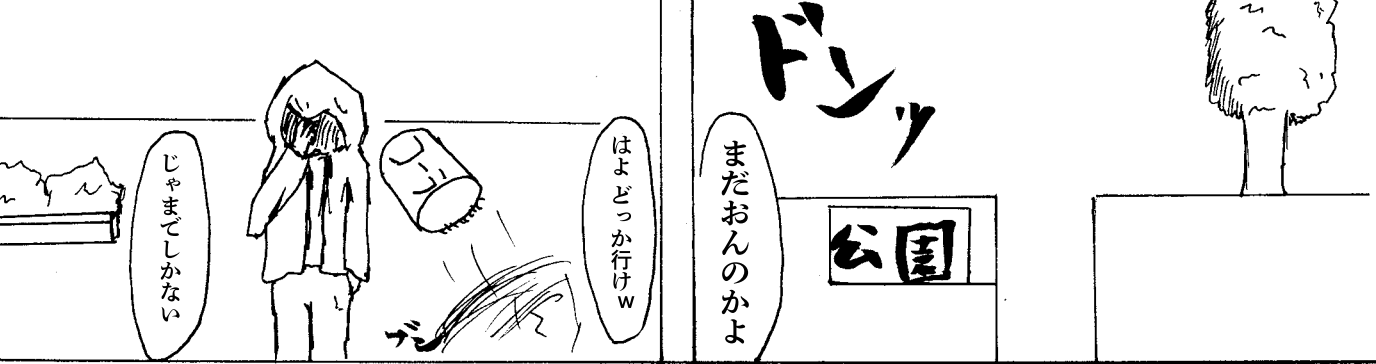
2ページ目では助けた猫が突然消えて先が読みたくなる展開を作っています。

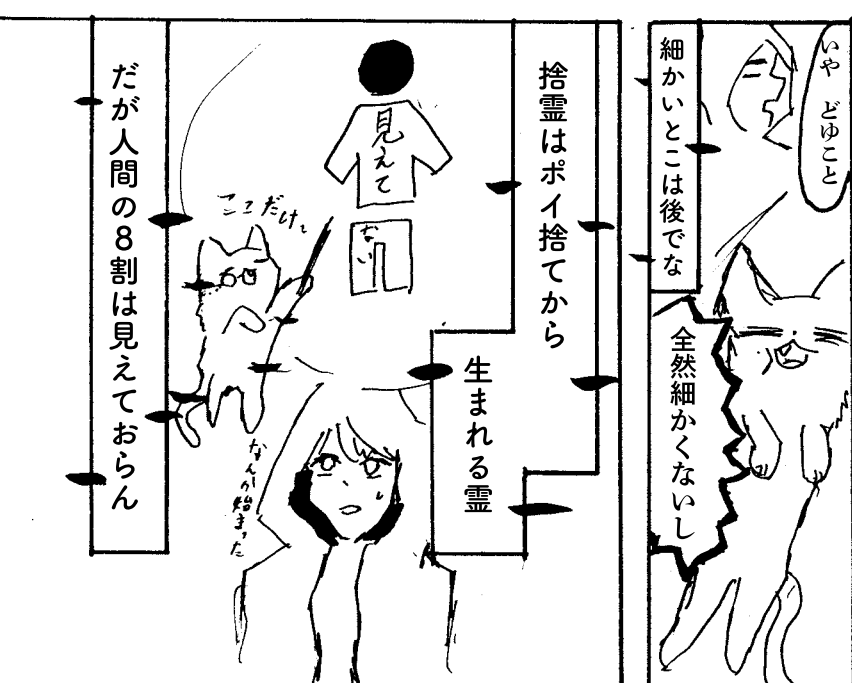
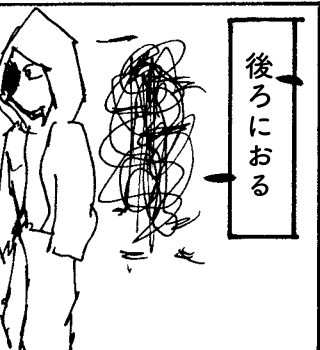
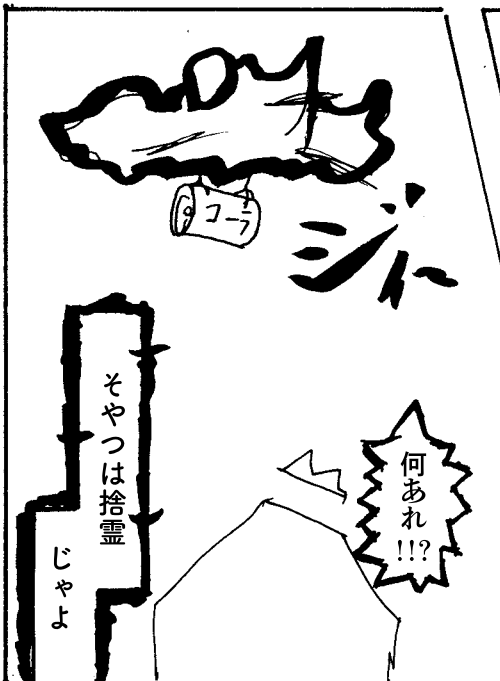
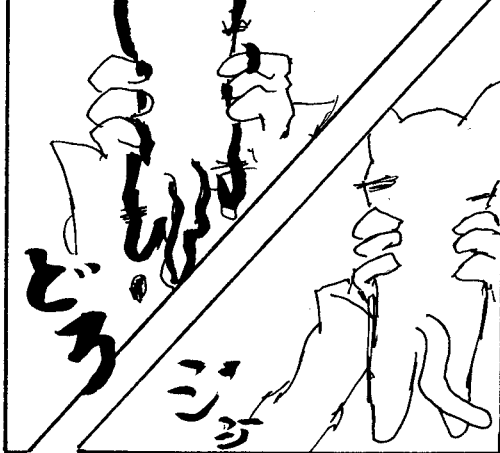
そして、捨霊が増えると、生き物はいなくなるとどうなるのかというごみ問題が引き起こすピンチを演出し、ファンタジーの設定の中でも環境へのメッセージを伝えるという非常に難しいことができていてよかったと思います。

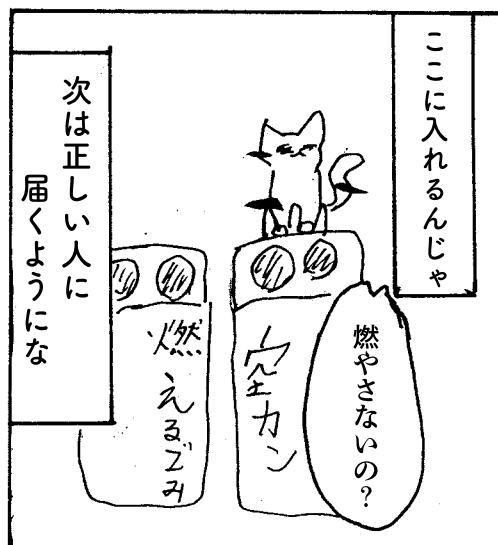
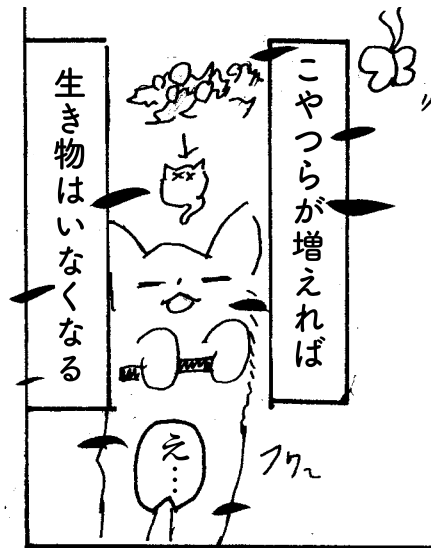
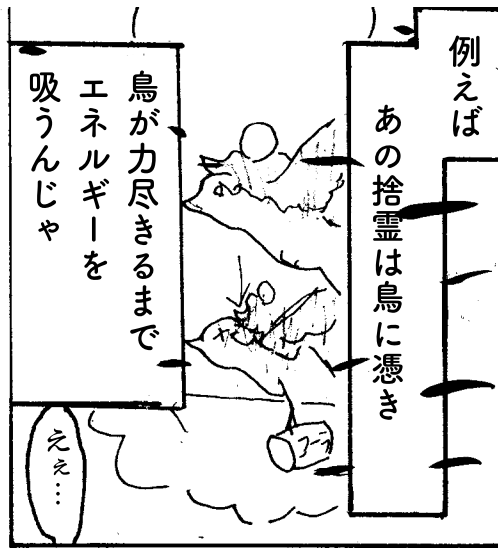


まちづくりの注目ポイント

ポイ捨てをなくすには、ごみを減らして分別がきちんとできるような仕組みづくりが必要になってきます。まず、自分自身が考えて行動することが大切です。







熊本コアミックス 谷中さんからの総評

本当にみなさんレベルが高くて、特にキャラクターデザインが良かったです。

読む人にも愛されるキャラクターを作ろうとされていたことがマンガの一番大事なポイントをわかっているのだと感じました。講評会でみなさんから話のオチまで3ページ以内に描くのが大変だったという声がありました。

マンガには「3ページの壁」というものがあると思っています。

みなさんに馴染みのあるショート動画でも2秒と6秒の壁というものがあります。まず、2秒のところでどんな動画か分からないと続きを見てくれません。そして、再生してから6秒以内に面白いと思ってもらえないと最後まで見てもらえないというのがデータで明らかになっています。

マンガも同様に3ページ以内に恋愛なのかミステリーなのかどんな話か分からないと読んでもらえません。でも、みなさんはこの3ページでどんな世界かどんな話なのかというのをしっかりまとめる力があります。

この先みなさんが次は8ページ漫画に挑戦して、読者が主人公のことを好きになるような魅力をつめこんだ話を考えたり、さらにページを増やして起承転結を意識した話を作っていくなど、もっと成長するための下地があると思いましたので、これからもマンガを描き続けていただけると非常に嬉しいです。

作画指導 さいきさんからの総評

みなさん、夏休みの初めから全6回の参加、お疲れさまでした。暑い季節でもありましたし、マンガをこのような形で描くのはほとんど初めてだったんじゃないかなと思います。

初めてのことを、暑い中、戸惑いつつも、よく走り抜けてくださいました。

このようにみなさんの作品が形になったことをとても喜ばしく思っています。

中央区役所 大田区民部長からの総評



まずは、皆さん、中央区まちづくりマンガスクールにご参加いただきありがとうございました。

参加者の皆さん全員が一人もかけることなく、作品をしっかり作り上げてくれたことを本当にうれしく思います。皆さんの作品すべてが、画もうまくて、個性もでていて、本当にとても良くできた作品ばかりで驚きました。

今回はゴミをテーマに取り上げた作品が多かったですが、表現の仕方は各々違っても、しっかりと作者の絵に込めた思いが伝わってくる作品ばかりでした。

今回のまちづくりマンガスクールをきっかけに、今後も地域の身近なまちづくりの問題や取り組みに関心を持ってもらって、皆さんが描くマンガの題材として取り上げたり、みなさん自らが、地域のまちづくりに関わってもらえると嬉しいです。

皆さんが「将来のまちづくりの担い手として」そして「未来のマンガ家」として活躍することを期待しています。

マンガに出てきた「まちづくり活動」

環境美化・清掃活動

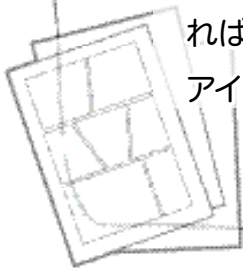
小さな子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に参加できる活動です。マンガにもでてきた「将来のため」をモットーにキレイで安心なまちづくりへ一歩踏み出してみましょう。

交通安全

地域・学校・企業等が連携して、子どもたちの見守り活動や防犯パトロール活動などを行っています。地域全体で子ども達を見守り、成長を支えることで、コミュニティが活発になり、安心・安全な住みよいまちづくりへとつながります。

夏祭り（地域のイベント）

地域の人を中心に、開催されています。たくさんの方が参加してくれて、こども達も楽しめる内容を考えながら、活動しています。こんなイベントやりたい!などのアイディアがあれば、地域の人に伝えてみませんか?地域では、みなさんのアイディアや力も必要としています。



完成した作品は、熊本市ホームページでも読むことができます

熊本市まちスク

検索



こちらからアクセスできます

発行日 令和6年(2024年)12月

発行元 熊本市中央区まちづくりセンター
熊本市中央区手取本町1番1号
TEL(096)328-2232



KUMAMOTO_CHIJOU_OFFICIAL

Instagram